

# LION

今月の特集

## ブダペスト国際理事会

### HEADLINE

FWT全日本女性シンポジウム  
開催

### ふるさと探訪

栃木県足利市・多彩な観光資源  
を持つ北関東の歴史町

# 12



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

DECEMBER 2015 [WWW.THELION-MAG.JP](http://WWW.THELION-MAG.JP)

ライオン誌(毎月20日発行)第58巻第8号 2015年11月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

# LCI研修会と 国連ライオンズ・デー参加企画

山田實紘国際会長の就任を機に、これまで日本のライオンズ会員の多くにとっては遠い存在だった国際協会本部との距離を縮め、協会の運営や最新情報に関する理解を深めるための研修が企画されている。

## 第2回ライオンズクラブ国際協会 (LCI) 研修会

アメリカ・イリノイ州シカゴ郊外のオークブルックにある国際本部を訪問し、各部署によるプレゼンテーションを受ける他、近隣クラブの例会訪問や創設者メルビン・ジョーンズの墓参など多彩なプログラムが組まれる。

日 時：2016年1月10日（日）～14日（木）

会 場：ライオンズクラブ国際協会本部事務局（アメリカ・イリノイ州オークブルック）

主 催：日本ライオンズ国際委員会（委員長／西川義規国際理事）

募集人数：申込先着30名



今年1月に行われた第1回研修会には若手からベテランまで23人が参加した



シンボルの千羽鶴が飾られた国際会長室

## 国連ライオンズ・デー参加企画

毎年恒例の国連ライオンズ・デーは、70年にわたる国連とのパートナーシップを祝うと共に、人道上の課題について共に考える貴重な機会。この催しに日本の会員の参加希望者を募って参加する企画が立てられている。国連ライオンズ・デーでは国際平和ポスター・コンテスト授賞式、国連代表者とのパネル・ディスカッション、各国国連大使との昼食会の他、本部ビル内の見学ツアーが行われる。今回は女性の尊厳をテーマにディスカッションが行われる予定。

日 時：2016年3月10日（木）～14日（月）

会 場：国際連合本部ビル（アメリカ・ニューヨーク州ニューヨーク）

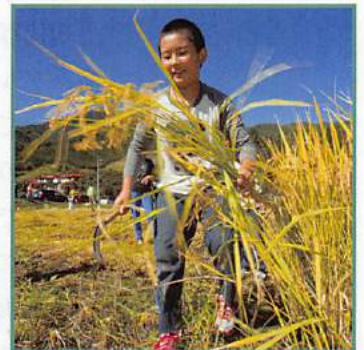
主 催：日本ライオンズ国際委員会（委員長／西川義規国際理事）

※問い合わせ・申し込み：日本ライオンズ事務所（TEL：03-6262-1263）



■2015年12月号  
表紙  
愛媛県愛南町  
外泊・石垣の里  
写真/鈴木秀晃

4	国際会長メッセージ ● 「写真は奉仕のスピリットを写し出す」
5	HEADLINE ● FWT全日本女性シンポジウム開催
6	<b>SCENE</b> ● 群馬県渋川中央/京都シニア
10	<b>CLUB REPORT</b> 10: 宮城県仙台シティ/12: 広島城北、広島佐東、広島西北/14: 埼玉県越谷中央/15: 333-C地区第5地区第1区/16: 京都市城南/16: 東京剣道/17: 徳島藍/17: 岐阜金華/18: 青森県八戸/18: 福岡県伊都福岡/19: 愛知県稲沢緑/19: 北海道富良野、兵庫県西脇
20	3分間ライオンズ・アクティビティ編 ● 青少年奉仕 国際平和ポスター・コンテスト
21	LCIF FILE
22	<b>特集</b> ● ブダペスト国際理事会レポート 「国際協会の次の100年を見据えて」
28	国際理事だより ● 「ブダペスト国際理事会に出席して」安井克之
29	LIONS NEWS CASSETTE 29: ノーベル賞とオンコセルカ症根絶を目指す視力ファーストの活動/29: ジョー・プレストンLCIF理事長セミナー開催/30: 1月の世界奉仕ウィークのテーマは飢餓と貧困の解消/30: 100周年記念の特別なニューメンバーキット/30: 女性会員の割合は世界で27%、日本は25%
32	会員倍増計画リポート③
33	福岡国際大会への道④ ● 豊かな日本文化を伝えるインターナショナル・ショー
34	USA/カナダ・フォーラム・リポート ● 中嶋辛
38	関東・東北豪雨災害復興支援
40	3.11リレー連載 ● 菅原康雄 (宮城県仙台高砂)
41	獅子吼 41: 赤坂勝/42: 菅野典雄/43: 雪本利博/44: 菊田昭文
46	Close up ● 大江文彦
49	<b>ふるさと探訪</b> ● 栃木県足利
54	READERS ROOM 54: 読者から/読者プレゼント 55: もう一度読みたい「あの記事」 ● 「1987年7月 そのとき歴史が変わった」
56	EDITORS ROOM 56: ライオン誌例会のスヌメ/次号予告 57: 編集室 ● 「2015年ライオン誌編集者会議」佐藤義則
58	日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

# A Message From Our President



Dr. Jitsuhiro Yamada  
Lions Clubs International  
President

## 写真は奉仕の スピリットを写し出す

私たちは、動画の時代に生きています。YouTubeには毎分300時間分の動画がアップロードされ、誰も彼もがこれを見ることが出来ます。しかし、今もなお、写真が私たちの生活を切り取るパワフルな手段であることに変わりはありません。

「現代写真の父」と呼ばれるアメリカの写真家、アルフレッド・スティーグリッツは、こう言っています。

「写真の中のリアリティーはあまりにもかすかなので、現実以上にリアルなのだ」

今月の国際本部版『ライオン誌』は、写真特集版になっています。レンズを通して写し出された、私たちの奉仕の深いリアリティーにスポットライトを当て、奉仕の中にある美しさを引き出しています。通常の『ライオン誌』では記事を補足する形で写真が掲載されていますが、今号では、世界中で行われているすばらしい活動とそのインパクトを、写真の持つ力で伝えています。別編集されている日本語版には全ての写真は掲載されません。普段、国際本部が編集する英語版はなかなか

目にする機会がないと思いますが、国際協会ウェブサイトに掲載されているデジタル版であれば、国際本部版はもちろん、全世界で発行されている各国語



Photo by Texas Lions Camp

版を目にすることが可能です。

写真の持つ強みは、言葉の壁を超えて本質を伝えることが出来る点ではないでしょうか。英語で書かれた記事には二の足を踏んでしまいがちですが、写真は世界共通です。今月の写真特集はそういった意味でも、デジタル版を使って本部版『ライオン誌』を覗いてみる良い機会ではないでしょうか。

写真が捉えた私たちの活動のワンシーン、ワンシーンを見ると、ボランティア活動がいかに与える側に喜びをもたらすものであるかを実感します。私たちの活動は、奉仕を受ける側と、与える側とに喜びと温かさで励ましを与えているのです。

ちょうどこの『ライオン誌』が皆さんに届くホリデー・シーズンにふさわしい内容になりました。皆様が2015年に届けてくださったライオンズ・スピリットに感謝いたします。そして、来る2016年が笑顔と愛情にあふれた活動の1年となりますように。

山田 實紘

2015-16年度国際会長  
山田實紘



Photo by Wheaton Park District

## HEADLINE

# 全日本女性シ



←第2部のシンポジウム

↑執行委員会委員でもあるカーラ・ハリス国際理事による講演

# 10

月21日、愛知県名古屋市のキャッスルプラザにおいてFWT全日本女性シンポジウムが開催された。全国33地区から374人の

参加者が集ったこのシンポジウムには、山田實紘国際会長、西川義規、安井克之、佐藤宜之各国国際理事、鈴木誓男国際理事会アポイントイーが臨席。講演者として山田国際会長が設置した国際理事会の特別委員会、家族及び女性アクション委員会の委員長を務めるカーラ・ハリス国際理事(アメリカ・ウィスコンシン州)が招かれた。開会后、河合悦子FWT会則地域副リーダーのあいさつに続き、第1部では山田国際会長、ハリス国際理事の講演が行われた。山田会長は「世界最大の人道奉仕組織としては、男性だけでは手が足りない。女性会員を増やすことで奉仕の力を高めていこう」と、会員増強の目的は奉仕の充実にあると語った。ハリス国際理事は女性の増加によって会員数を大幅に伸ばしている日本の実績を評価した一方、女性リーダーの割合が世界では25%、O S E A L地域で20%なのに対して、日本は5%と低くとどまっていることを指摘した。ハリス理事は、2002年に入会してから10年余りという短期間で国際理事に就任出来たのは、元地区ガバナーや元国際理事がメンターとなって自分を引き上げてくれたためだと述べ、日本のリーダーにも良きメンターになってほしいと述べた。続く第2部は八複合地区のFWTコーディネーターによるパネル・ディスカッション。FWTが使命とする家族及び女性の会員増強と育成、新たな奉仕活動の開発に関する取り組みが報告され、クラブ支部制度の活用で増強を図ることや、貧困家庭の児童に対する学習支援という新たな奉仕事業のアイデアなどが報告された。

群馬県・渋川中央ライオンズクラブ

取材/砂山幹博 写真/長谷川直紀

## いついまでも「赤城姫」が舞う森に

渋川市赤城町津久田にある「津久田の赤城神社」の本殿には、一風変わった彫刻が刻まれている。鮮やかな朱に彩られた東西の破風はふぶに舞うのは4頭のチヨウ。昔この地域でもよく見られたヒメギフチヨウである。アゲハチヨウの仲間でその可憐かれんな姿から「春の女神」や「赤城姫」と呼ばれるチヨウで、現在は、関東地方では赤城山山系の一部

にしか生息していない幻のチヨウだ。一時は絶滅したとも言われていたが、地元の小学校や保護団体、県や市の教育委員会からの努力が実を結び、生息数もだいぶ回復している。

ヒメギフチヨウが絶滅の危機に瀕した要因は、広葉樹林の手入れが行き届かなくなり、山が荒れたことにある。木々の間隔が狭くなっているのはヒメギフチ

ヨウが生息する範囲が限られてしまう。だから保護活動はまず山中の下草を刈り取り、チヨウが生息しやすい環境を整えることから始まる。下草が刈られると、幼虫のエサとなるウスバサイシンやカタクリが生い茂るため一石二鳥だ。

年に一度行われるこの下草刈りでは、渋川中央ライオンズクラブ

(飯塚文二会長/50人)が大活躍する。メンバー各自が自前の草刈り機を持ち込み、慣れた手つきで伸びた下草を刈り取っていく。きれいに刈られた地面には、地元の南雲小の児童4人がドングリの植栽を行った。チヨウが舞う森を後世に引き継ぐために地域が一体となった活動に、ライオンズは今後も労力を惜しまず協力していく考えだ。





京都シニア ライオンズクラブ

取材/井原一樹 写真/内田明人

## 京都から糖尿病に対する警鐘を。市内少人数クラブの合同事業

10月16日、京都市中心部の丹波口駅前にある京の食文化ミュージアム「食あじわい館」の調理実習室で、京野菜を使った糖尿病料理教室が、京都シニアライオンズクラブ（八木保会長/21人の主催で開かれた。共催は京都ときわ、京都モーニング、京都薫風、京都王仁わにの各クラブ。

この5クラブは3年前から共同で糖尿病対策の事業を実施している。近年、京都市内のクラブの会員数が減っていることを危惧し、京都モーニングライオンズクラブの当時の会長村上綾一朗が市内の20人以下のクラブに呼び掛けて合同事業を企画したのがきっかけだった。世界的に社会問題化している糖尿病にライオンズクラブとして何か出来ないかという思いと、合同事業で京都のライオンズを活性化

させたいという思いが重なって始まったのが、一連の糖尿病対策事業である。5クラブで講演会などを実施した際、メンバーが感じたのが、糖尿病の怖さが市民にあまり届いていないということ。また、糖尿病対策として生活の改善が挙げられることに注目。そこで、市民を対象に、病院で実践を重ねている二人の管理栄養士

に指導を依頼。気を付けているのは、本格的にし過ぎないこと。ちょっとした工夫で続けられるテクニクを教えるようにした。合同事業を行うようになってからクラブ間の交流が盛んになり、活動には活気が生まれた。5クラブでは今後、糖尿病に対する啓発活動を進め、少しでも多くの人の健康問題を未然に防ぎたいと考えている。







# クラブ レポート REPORT

●投稿要領：  
アクティビティ、例会など、  
クラブの活動を具体的に。  
700字程度。写真を添付。  
ライオン誌ウェブマガジンの  
オンライン投稿か、Eメール  
または郵送で。送付先は  
579下。

332-C地区

宮城県・仙台シティ ライオンズクラブ

## 会社を作って、モノを売る、 いつもと違うワクワク体験



10月17日、仙台市の中心地、  
活気あふれる一番町四丁目商店  
街に子どもたちの「いらっしや

いませ」の音が響いた。これは  
仙台シティライオンズクラブ、仙台  
わかば支部（佐藤なな子会長／

6人）がメイン・アクティビテ  
イとして取り組むジュニアエコ  
ノミーカーレッジ（通称ジュニ  
コ）での実践販売の「コマダ」。  
ジュニエコとは小学校5、6  
年生が5人一組となり模擬株式  
会社を設立し、およそ半年にわ  
たって起業から、仕入れ、製造  
販売、決算、納税までの一連の  
商売の流れを体験するプログラ  
ムだ。資本金1万円、必要であ  
ればもう1万円の借入れが出  
来、最大2万円を元手に自分た  
ちで商品を考え製作し、作った  
商品を実際に外に出て自ら販売  
する。商工会議所青年部を中心  
に全国24カ所で実施されている  
もので、商売体験を通じて、自  
ら決断し行動出来る人材を育成

する次世代の青  
少年育成プログ  
ラムとして注目  
されている。宮  
城県内では、一  
般社団法人みや  
ぎ次世代育成協  
議会（以下、協  
議会）が主体と  
なり2011年  
からの4年間で、  
計27チーム12  
9人の子どもた  
ちがこのジュニ  
エコに参加して  
いる。5回目と  
なる今回は、仙  
台市内の小学校  
から6チームが参加し、道行く  
人に自慢の商品をアピールして  
いた。



仙台わかば支部がジュニエコ  
に関わっている理由は、メンバ

「子どもたちが街中で実践販売  
を行う時、テーブルや椅子、テ

1の何人かが協議会に所属して  
いるため。佐藤会長もその一人  
だ。





ントといった備品の多くを地域の企業さんなどからお借りして運営しています。ある企業さんにこうした協力をお願いしに行った時、青少年育成の活動などを行っているライオンズクラブという団体を知っているか、と逆に質問されました」（佐藤会長）

声の主は、仙台シティライオンズクラブの野須賀秀勝。この出会いがきっかけで、佐藤会長はライオンズとしてジュニアエコの活動を行ってはどうかと野須賀から提案された。ただ、協議会は若手が多いためライオンズクラブの会費の高さがネックに。そこで仙台シティライオンズクラブの支部として、ジュニアエコを活動の中心に据え、2014年に仙台わかば支部が結成されることになった。

メンバー全員



がライオンズのことをよく知らないところからスタートしているが、親クラブの例会や催しなどに参加しているうちに理解が進み、関係も深まった。支部の活動に親クラブのメンバーが協力してくれるようにもなっている。仙台わかば支部側も、少しずつではあるが親クラブのアクティビティに協力していく考えだ。

（取材／砂山幹博 撮影／宮坂 恵津子）

336-C地区

広島城北、広島佐東、広島西北ライオンズクラブ

## 休耕田を利用して作られた米を 西アフリカ・マリ共和国へ



10月17日、広島県広島市安佐南区の上吉山集会所前には子どもたちを含む多くの人が集まっていた。この日は毎年実施され

ている海外援助米の収穫祭だ。安佐南区では毎年、ここで収穫された米を西アフリカにあるマリ共和国に送っている。

この事業は1999年、安佐南区が休耕田の活用を目的に始めたもの。今回で17回目だ。援助米を植える休耕田は2、3年で変更する。こうしてローテーションすることで、複数の休耕田を寝かせたままにしない工夫がなされている。

区内をメインに活動している広島城北ライオンズクラブ（東功二会長／41人）、広島佐東ライオンズクラブ（藤岡満会長／30人）、広島西北ライオンズクラブ（國保典昭会長／30人）はこのプロジェクトが立ち上がった頃から関わっている。元々、ライオンズは区民祭りや交流駅伝に参加したり、安川の清掃作業に従事したりしており、区とのつながりが強かった。こうして第1回目か

らライオンズは資金提供と当日運営の手伝いを担当し、この事業になくてはならない存在となっている。今年も運営委員会や田植えの準備会議に始まり、4月の田植え、7月の草刈りにも参加した。ライオンズ・メンバーを始めとした各人の努力のせいもあり、無事収穫の時を迎えることが出来た。

この日は収穫祭にもついでこの天気。澄みきった青空の下、200人を超える人が上吉山集会所へと集まってきた。収穫祭では毎回、稲刈りの他にもサイドイベントが



いくつか用意されている。今回はサツマイモ掘り。ただ掘るだけではなく、一番重いサツマイモを掘り当てた人に賞品が出るということもあって、皆楽しんで掘っていた。

その後はいよいよ稲刈り。田植えや草刈りに参加した人も数多く来ていた。子どもたちも鎌を持ち、せっせと刈っていく。刈った稲は皆で運び、トラクターで脱穀する。ここで収穫された米は精米、袋詰めを経てマリ共和国に送られる予定だ。米の袋は子どもたちがイラストやメ





ッセージを書き込んだものを使用する。この日も集会所の中では米袋に思い思いのイラストを書き込む子どもたちがいた。メッセージを書くために英語を学ぶ子どももあり、海外に目を向けるきっかけにもなっているという。

昼には新米の試食も兼ねて、おにぎりが振る舞われた。今回収穫された米はよしやま米と呼ばれるもの。もちもちした食感が特徴のおいしいお米だ。

3クラブは今後もこの事業に参加すると共に、より多くの区民に協力してもらえよう努力を重ねていく。

（取材／井原一樹 撮影／内田明人）

今年度、山田實絃国際会長は「命の尊厳と和」をテーマに、特に子どもたちに尊厳をもたらし活動に取り組んでほしいと訴えている。10月28日に越谷中央

ライオンズクラブ（佐倉喜一郎会長／29人）が開催した「いのちの大切さ講座」は、まさにそれにふさわしい事業だった。核家族化、少子化が進み、人



の死や誕生を経験したことのない子どもが多い中、子どもたちに命の大切さを考えてもらおうきっかけにしたいと始めたもので、今年で3年目となる。この日は、隣接する春日部市の開業医・藤川万規子医師を講師に招き、越谷市立越ヶ谷小学校の6年生3クラス95人を対象に実施した。

藤川医師はまず、11年前から命の大切さを説く活動を続けていること、当時、長崎で小学校6年生の女児が同級生を殺害する事件があったことを紹介。それ以降も、子どもが加害者になったり、逆に被害者となったりする事件、あるいはいじめによる自殺などが起きていたとして、命がどのように誕生するかきちんと知ってほしいと、受精や胎児の成長過程について分かりやすく説明した。

その後、藤川医師は子どもたち2人1組に聴診器を渡し、心臓の音を聞く活動を行った。子どもたちは自分の心臓の音を聞いたり、友達や先生の胸に聴診器を当てたりして、音や鼓動を確かめた。活動を終え、感想を求められた子どもたちは、「一定のリズムで音が鳴っている」「友達と校長先生の音を比べたら校長先生の方が大きい気がした」「聴診器を当てた場所によって音の大きさが違った」などと話し、力強く動く心臓を通して、生きているということを実感したようだ。更に児童からは「命の大切さが良く分かった。これからは自分の命も友達の名も今まで以上に大事にしたい」との発言もあり、この日の講座が確実に子どもたちの心に届いていることがわかった。



330-C地区

埼玉県・越谷中央ライオンズクラブ

小学生を対象に「いのちの大切さ講座」を開催



取材／鈴木秀晃

333-C地区

第5回第1次(千葉県)

## 東京ドームで開催された日ハム・ロッテ公式戦をスポンサー



オンズクラブデー In 東京ドーム」という名称で開催すること

9月1日、333・C地区第5回第1次は東京ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズの試合をスポンサーした。今回、第5回第1次がこの事業を実施したのは、昨年8月30日に、鎌ヶ谷飛翔ライオンズクラブが5周年記念事業として同じく公式戦をスポンサーしたことがきっかけだ。このすばらしい事業を1回限りとしてしまつのはもったいないため、ゾーン合同で実行委員会を立ち上げ、「2015ライ



にした。

試合のスポンサーになると、18時から試合開始の18時30分までの30分間に、グラウンド内でイベントを開催することが出来る。そこで子どもたちを招待してグラウンドノックや、ベースランニングを実施。また、松本宰史第1副地区ガバナーと高橋克文第2副地区ガバナーから両監督へ花束を贈呈。国家独唱は自井ライオンズクラブの髙城靖雄が行った。始球式は吉原稔貴がやった。また、333・C地区ガバナーだ。また、試合中にはオーロラビジョンでライオンズクラブのCMを3回放映してもらった。

髙城の歌は大変すばらしく、私が今まで体験した中で一番の『君が代』だと感じた。スポーツ専門チャンネルGORAによるテレビ放映もあったため、北海道からも彼に対する称賛の連絡が多数あったという。こうしたことから、今回は大いにライオンズクラブのPRが出来るかと自負している。パ・リーグ公式戦をスポンサーするためには、内野自由席券を4千枚引き受けることが条件



となつている。これを全部さばくのは大変な困難だった。しかし、子どもたちがグラウンドでノックを受け、喜々としてベースランニングをしている姿を見

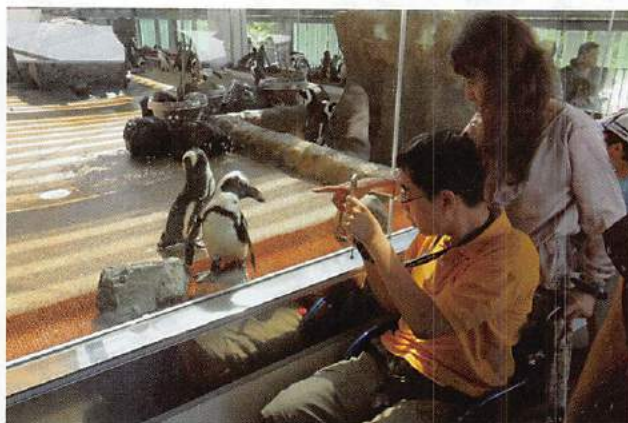
ると、感動の思いがこみ上げる。と共に、この事業を実行して良かったと実感した。

(鎌ヶ谷飛翔ライオンズクラブ 長/篠原敦子)

335-C地区

京都市南ライオンズクラブ

## 福祉施設の園生と共に 京都水族館と梅小路公園へ



9月5日、京都城南ライオンズクラブ（窪田光宏会長／33人）は梅小路公園にある京都水族館に、地域の六つの福祉施設に通う217人の園生たちを招待した。

この日は好天に恵まれ、園生と共に楽しい1日を過ごすことが出来た。

京都水族館には10時入館予定だったが、園生たちは入館時間の前から、入り口でワクワクしながら待っていた。そして入館すると、目を丸くしながら左右を見渡し、魚たちと会話をし、イルカショーでは大歓声を上げ

て喝采の拍手を贈った。こうした園生たちの姿は感動的で印象的だった。

お楽しみみのランチタイムでは、芝生広場や野外ステージで、みんながおいしそうな表情をしながらお弁当を食べてしゃべり、笑い合う。

そして最後には、イベントスペースのある緑の館で大道芸見学。ハラハラドキドキしながら真剣な顔で見てくれた。

こうした姿を見ると、メンバー全員がこの事業に取り組んで良かったと心から思う。

当クラブは、今年度20周年を迎えることが出来た。これもひとえに、地域の皆様のおかげとメンバー全員感謝をしている。そして、その感謝の気持ちを地域の皆様に少しでもお返しさせて頂きたいという気持ちから、20周年記念事業の一環として今回の京都水族館での集いを計画し実行した次第である。

これからも地域の皆様に少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思っっている。  
（チャーター・ナイト20周年実行委員長／西尾治）

東京剣道ライオンズクラブ（脇本三千雄会長／50人）は9月22日に中野区立体育館で第11回少年剣道大会を主催した。大会に先駆け、チャーター・ナイト10周年の祝賀会も挙行了した。

2005年4月3日に結成した当クラブのチャーター・ナイトは、同年7月18日、当時330・A地区ガバナーであった山浦晟暉元国際理事の下、行われた。当クラブは「剣道の指導を通して青少年の健全育成を図ることを」をアクティビティの柱として活動してきた。

330-A地区

東京剣道ライオンズクラブ

## 剣道大会に先駆け 10周年記念祝賀会を挙行



この祝賀式典は大会に参加する少年剣士858人、ご父兄約1千人の前で実施。田中大輔中野区長を始め、多くの方に参列して頂き、ごあいさつを頂いた。クラブからは感謝状が山浦元国際理事、スポンサー・クラブの東京赤坂、東京中野、東京しいの木各ライオンズクラブと、ガイディング・ライオンの阿久津隆文元ガバナーと私に渡された。式典の後、10時からは剣道大会。少年剣士の元気な声が午後4時まで会場に響き渡った。この大会では毎回、審判と役員を

メンバー全員がライオンズのエンブレムを胸に務めている。今回、周年行事をホテルではなく、少年剣道大会の前に行ったことには大きな意義があったと感じた。大会にお越し頂いた方々の前で実施することで、ライオンズの奉仕の在り方をお伝え出来たと思う。また、クラブの節目に同席してもらったこと、少年たちとの絆も更に深くなっていくだろう。なお、この日は9月の関東・東北豪雨で被害に遭われた方々への募金活動も実施した。  
（小島清隆）



岐阜金華ライオンズクラブ

## 田園風景を守る・ふれあい農園 田んぼで稲刈り作業



9月19日、岐阜金華ライオンズクラブ（藤田和夫会長／65人）は、当クラブの有志が運営している田園風景を守る・ふれあい農園で稲刈り作業をした。

近年、集中豪雨、竜巻、猛暑などで各地に被害が起きている。これらは、地球温暖化で自然のバランスが崩れているのが原因とされている。山紫水明を誇る岐阜においても田地、田畑が次々と家屋やアパート、不動産の看板の立つ空き地、荒地となり、農園の未来は暗い。

当クラブの有志は地球温暖化、

異常気象を止めるために、今出来ることはないかと考え「ふれあい農園」を開設した。今年はそのから9年目となる。

本拠地は日本疎水百選になっている。席田用水を使っており、当クラブ・メンバーや知人の農地に、田んぼ一町歩（3千坪）畑二反（6百坪）の面積で設置させて頂いている。

田んぼでは3種類の米、畑は数十種類の野菜、富有柿50本を作付けしている。

実った作物は当クラブ・メンバーに買い取ってもらい、田園

風景を守るために、作る者消費する人が共存共助している。しかし、農地を守るには苦勞もある。一番大変なのは雑草対策だ。少しでも放置しておく、すこい勢いで生育し、まるでジャングルのようになる。

田園は食糧の自給率を上げ、水のため池となり、緑のある古里を残し、自然のバランスを保つてくれている。今日も青空にはタカ、サギが舞い、あぜ道には曼珠沙華が咲き、我々を応援してしてくれる。

（環境委員／日下部次郎）

8月12日から15日までの4日間、徳島市全域で阿波踊りが開催された。その初日である8月12日、徳島藍ライオンズクラブ（30人）は中心地の籠屋町で午後5時から10時にかけてチャリティーショップを出店。初めての試みであるため、場所、販売品目の選定、仕入れ等メンバーで手分けして準備を進めた。

販売品目は水、お茶、アルコー、すだちジュース、かき氷に、会員の家族がワカメの製造業なので塩ワカメも加えた。別の会員が弁当屋を営んでいるの

で、揚げたこ焼き、ちくわの磯辺揚げ、鶏の唐揚げ、コロケなどの揚げ物も出すことにした。また、踊り子さんの希望を聞いて、すだちの輪切り入りの素麺もメニューに加えた。販売時間の少ない中でも揚げ物は完売、他の品物は会員さんの協力で完売することが出来た。

振り返ってみれば、会社から椅子を準備してくれたり、かき氷の機械を貸してくれたり、手づくりでチラシを作ってくれたり、たくさんの方のすばらしい助力によってこの事業が無事

徳島藍ライオンズクラブ

## 徳島市阿波踊りの初日に チャリティー・ショップ出店



に実施出来たと思う。収益は初めてにしては上出来。今回の実施のためにも良い経験となった。これからの1年間の実りあるスタートに出来たと思う。なお、収益金は障害者福祉施設への支援とした。

当クラブではこれから藤棚の清掃活動や献血キャンペーンのピラ配り、薬物乱用防止啓発活動と青少年健全育成綱引き大会の寄付やお手伝い、とまだまださんの行事がある。会員一同、元気に楽しく一致団結がんばっていく。（会長／近藤裕美）

八戸ライオンズクラブ（田名部智之会長／72人）は9月12日、チャリティー・パークゴルフの交流会を実施した。この事業は継続10回目。会場は八戸市にある小久保パークゴルフ場だ。

当クラブがこの事業を始めることになった背景には、パークゴルフが青森、北海道で人気となっていたことがある。

当時、私がパークゴルフ協会八戸地区の会長を務めていたこともあり、イベントが実施しやすい環境にあったのも、この事業の推進を後押しした。

## 332-A地区

青森県・八戸ライオンズクラブ

## 10年間続いたアクティビティパークゴルフ交流会実施



当日は秋の晴天に恵まれた。老若男女約90人の市民が参加し、パークゴルフに汗を流した。参加費の一部は、八戸地区少年警察ボランティア連絡会（長谷川厚会長）を通じて、「少年非行防止JUMPチーム」に寄贈している。

この少年非行防止JUMPチームはモラル低下を防ぐために、小学生、中学生、高校生が自らの学校の仲間や地域の方々を巻き込んで、非行防止の輪を広げていくことを目的に結成されたもの。県内555校、7500

人を超える児童・生徒が参加しており、県内全ての中学校、高校に結成されている。小学校では2011年に始まったが、現在ほぼ全ての学校で結成されるようになった。JUMPチームのメンバーは県内各地区で薬物乱用防止キャンペーン運動や、万引き防止啓発活動などを実施している。

今年で10回目となったこの事業。JUMPチームなど多くの方々に喜ばれる事業となっている。

（地域奉仕委員長／柏木豊）

## 337-A地区

福岡県・伊都福岡ライオンズクラブ

最初は献血車1台から  
献血者累計2万人突破の軌跡

9月10日、伊都福岡ライオンズクラブ（79人）は第37回献血活動を実施。献血・採血者累計2万人の大会を突破した。

当クラブは1997年3月に結成。メイン・アクティビティを献血事業とし、結成翌年、1台の献血車から活動を開始した。当初は会員の会社の駐車場場で活動していたが、2001年から、学校法人川島学園・福岡舞鶴高等学校のグラウンドでの献血活動が始まった。03年からは福岡県下の献血車全7台を配車してもらい実施している。

前日の部活動、献血当日の授業等でのグラウンド使用を取りやめ、全面提供して下さっている福岡舞鶴高校のご協力なしには、この2万人という数字に到達出来なかつたと思っている。また、テントの設営作業、献血終了後のグラウンド整備も同校の生徒が自主的に手伝ってくれている。こうしたご協力・ご指導に対し感謝の念が尽きない。

今回も140人の生徒の皆さんに献血して頂いた。若年層の献血不足が叫ばれる中、この事業を継続することで、生徒の皆さんの献血に対する認識が一層高まればと期待している。

参加者には、9月はとろろてん、2月は手作りせんざいを配る。これらは当クラブ婦人部が前準備から協力してくれている。

10月13日には献血功労に対し日本赤十字社から感謝状を頂いた。また今年度は、当クラブから藤井勝彦ガバナーが出ている。ガバナー提言「情熱・絆・團結」を基に、今後とも学校当局・日赤・会員三者の更なる相互理解を含め3万人突破を目指していく。（会長／大館照光）

6月に稲沢市管内交通事故死亡者数が4人となった。その半数以上が高齢者である。昨年の死亡者数(5人)に迫る勢いの中、稲沢市は交通死亡事故多発非常事態宣言を発令。愛知県警は稲沢警察署の要請を受け、稲沢市老人クラブと共に緊急取締部隊を結成し、街頭での啓発活動を開始した。

そんな折、老人クラブ連合会から稲沢緑ライオンズクラブ(49人)に老人クラブの愛称を「ねんりんクラブ」にし、着ぐるみを活用してイメージアップを図

334-A地区

愛知県・稲沢緑ライオンズクラブ

## 交通安全マスコットの着ぐるみを寄贈



ると共に、高齢者への交通安全キャンペーンも行いたいと、着ぐるみ作成の協賛依頼があった。当クラブは結成以来、地域の交通安全活動に重点を置き、さまざまな事業を行ってきた。2000年からは毎年交通安全週間、老人クラブと自動車学校の協力の下、高齢者を対象に交通安全技能講習会を実施している。近年は運転適性診断など、最新技術も導入して地域の高齢者の交通安全に努めている。こうした背景もあり、協賛協力は全員の賛成で決定された。

また、稲沢警察署の交通外部団体の交通安全協会、安全運転管理協議会にも協力を願い、三団体合同で着ぐるみを作成することになった。着ぐるみのお披露目は9月10日の稲沢市老人クラブ連合会交通安全総決起大会。市連合会長からは謝辞を頂いた。過日、愛知県老人クラブ連合会からマスコットキャラクターによる老人クラブの交通安全PR活動は県下で初めてとのことで、表彰を頂いたと喜びの連絡が届いた。(会長/水谷光宏)

北海道・富良野ライオンズクラブ(津山純一会長/64人)と兵庫県・西脇ライオンズクラブ(宮崎春貴会長/51人)は7月31日から8月3日にかけて、17回目の交換学生事業を実施した。

1979年に両クラブ間で姉妹提携が結ばれて以来、今年で36年目。相互理解と交流を深めるといふ目的の下、富良野から西脇へ、西脇から富良野へとそれぞれ青少年を派遣してきた事業は、この度の派遣で富良野から西脇へが9回目、一昨年の西脇から富良野へは8回目となっ

た。これらを通じて、相互に行き来した青少年は76人を数える。今回は、富良野から3人の青少年が派遣され、メンバー2人が随行員として同行した。西脇では、二つの家庭がホスト・ファミリーとして青少年を受け入れた。

実施した全日程は「恵まれ過ぎ」と言いたくなるような晴天となった。非常に蒸し暑い中、西脇市の特産品で、先染めした糸を用いて織り上げる播州織の糸の染色工場、織物整理加工工場の見学、市長表敬訪問、US

331-B地区・335-D地区

北海道・富良野ライオンズクラブ、兵庫県・西脇ライオンズクラブ

## 17回目の交換学生事業



J、ホスト・ファミリーとYE生で一日を過ごすホスト・ファミリー・デー等を通じて、富良野と西脇の相互理解と交流を深められたと思う。

事業後、YE生とホストとの交流が継続している例を幾つも耳にしている。富良野と西脇の交流が継続され、更に展開されることを確信して、今回の事業を終えた。

(富良野ライオンズクラブ教育・YCE委員長/澁谷正史、西脇ライオンズクラブYCE委員長/小山善郎)

# 3分間 ライオンズ アクティビティ編



青少年奉仕  
国際平和ポスター・コンテスト

## 平和について考え、描いてみよう

ライオンズクラブでは1988年から毎年、国際平和ポスター・コンテストを開催しています。これは世界中の子どもたちに、平和について考え、アートを通じて表現する機会を提供するプログラムです。対象となる年齢は11歳〜13歳。これまでに約100カ国から、何百万人もの子どもたちが参加してきました。

コンテストでスポンサーとなるのは単一クラブ。クラブがコンテスト・キットを購入し、地域の学校やボーイスカウト、ガールスカウトなどに参加を呼び掛けます。日本語版のキットはライオンズクラブ国際協会日本事務所(TEL:03・3494・2931 FAX:03・3494・2933)で、2月半ばから10月1日まで販売されます。キットの中にはコンテストのガイドや規則チラシ等、必要なグッズが網羅されています。

参加校やグループから子どもたち



国際大会では例年、最優秀賞受賞者によるサイン会が開かれる

の作品が集まると、各クラブはその中から1点を選び、11月15日までに地区ガバナーへ提出します。クラブの中にはコンテストに参加するだけでなくクラブのアクティビティとして、応募されてきた全作品を地域の公民館や役所などの展示スペース、あるいはチャリティー・コンサート

会場のロビーなどで紹介するところもあります。

クラブ→準地区→複合地区での選考を通して優秀作品1点選ばれて、12月15日までに国際本部のPR課へ提出されます。

国際レベルの審査では、芸術、平和、若者、教育、マスコミの各分野から選ばれた審査員が、作品の独創性や芸術性、テーマの表現力に基づいて選考を行います。こうして、世界中から約35万人もの子どもたちが参加したコンテストの、大賞となる1点と優秀作品23点が決定するわけです。大賞受賞者には賞金5千ドルが贈られ、家族2人及びスポンサー・クラブの会長と共に、国連ライオンズ・デーの中で開かれる平和ポスター・コンテスト授賞式に招待されます。優秀賞受賞者には賞金500ドルと表彰状が贈られます。

また、その年の受賞作品24点は国際大会の展示スペースに展示されま

す。大会に参加される方はぜひこれらの原画をご覧ください。子どもは作とは思えないほどのレベルの高さにびっくりされることでしょう。会場では大賞受賞者が直筆サインを入れたポスターも販売しています。

国際大会にはいらつしやれない方も、国際協会の公式ウェブサイト、歴代の大賞受賞作品と、最新のコンテスト受賞作品24点を見ることが出来ます。同ウェブサイトでは他にも平和ポスター・コンテストのPRパンフレットやビデオ、コンテスト規程をダウンロードしたり、平和ポスターをモチーフにしたEカードを送信することも出来ますので、ぜひ訪れてみてください。

これまでのコンテストで、日本からは2人が大賞を、28人が優秀賞を受賞しています。現在、「平和を分かち合おう」をテーマに第28回コンテストが進行中。今年はどうな作品に出会えるか、楽しみですね。

# LCIF FILE

LCIF Development Update



## LCIF理事長が日本の交付金事業を視察

LCIF Development Update

**山** 形県寒河江市に、ライオンズと共に歩む社会福祉法人があります。

1991年4月に開園した「さくらんぼ共生園」で、同年5月結成の寒河江隊ライオンズとは同い年。初年度に寒河江隊龍ライオンズが机、ソファ、ロッカーなどを寄贈して以来、両者は非常に緊密な関係を構築。クラブで施設の清掃や除雪を行う他、ボウリング大会、映画上映会、クリスマス会などを企画し利用者さんを招待をしているそうです。また、施設の作品展では鴨鍋などチャリティー鍋を出店。他にも豆まきや、手打ちうどん奉仕などで交流を続け、95、99、2005年には、利用者の通所を支援するため、送迎

車を1台ずつ寄贈してもらっています。

施設自体についても、開園とクラブ結成の10周年となる00年と、同20周年の10年にはLCIF交付金を活用して、さくらんぼ共生園の園舎新築及び増築を支援。今年6月のホルル国際理事会では3度目となる交付金申請が承認され、園生の作品を展示するギャラリーと、就労機会を提供するためのカフェを建設することが決まっています。

10月13日、そのさくらんぼ共生園をジョー・プレストンLCIF理事長、栢森新治LCIFライオンズのご案内により、施設の活用状況を視察すると共に、園生の作品や作業などを見学。

また園生が披露してくれたダンス発表では、プレストン理事長も踊りの輪に加わり交流を深めました。利用者の皆さんの目はいきいきとしており、私たちが含め、視察に参加した会員たちは、LCIF交付金の有効性を感じたのではないのでしょうか。



なおLCIF 50周年記念献金目標の9月度実績は330・C(前月の約6・6倍)、335・B(約5・1倍)、330・B(約4・1倍)の3地区が大幅増となりましたが、MJFの伸び率もこの3地区がトップ3を占めています。また、35地区中5地区で9月の全献金額がMJF献金となっているなど、千ドル献金の重みが改めて認識される結果となりました。

(LCIF国際委員、エリア・コーディネーター/桜井孝一、澁田繁晴)

## LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と目標達成への必要額(ドル) 2015年9月30日現在

地区	初年度目標額	献金実績	MJF	達成率	目標達成必要額
330-A	296,162	81,638	34	27.6%	214,524
330-B	550,133	316,005	228	57.4%	234,128
330-C	109,191	26,353	18	24.1%	82,838
331-A	301,245	57,000	57	18.9%	244,245
331-B	143,217	19,785	18	13.8%	123,432
331-C	61,401	15,200	12	24.8%	46,201
332-A	94,992	33,373	18	35.1%	61,619
332-B	98,629	10,000	9	10.1%	88,629
332-C	125,341	46,175	41	36.8%	79,166
332-D	189,278	125,140	119	66.1%	64,138
332-E	62,551	17,820	17	28.5%	44,731
332-F	41,050	6,580	6	16.0%	34,470
333-A	155,669	28,920	25	18.6%	126,749
333-B	114,588	26,680	25	23.3%	87,908
333-C	201,343	106,714	94	53.0%	94,629
333-D	150,671	35,820	35	23.8%	114,851
333-E	296,510	23,860	21	8.0%	272,650
334-A	1,281,309	279,780	280	21.8%	1,001,529
334-B	311,692	102,130	93	32.8%	209,562
334-C	268,425	44,310	40	16.5%	224,115
334-D	286,345	137,427	118	48.0%	148,918
334-E	245,159	35,000	35	14.3%	210,159
335-A	111,712	45,420	42	40.7%	66,292
335-B	571,240	71,205	46	12.5%	500,035
335-C	319,259	111,214	84	34.8%	208,045
335-D	129,468	41,480	40	32.0%	87,988
336-A	275,358	40,168	34	14.6%	235,190
336-B	115,970	50,883	31	43.9%	65,087
336-C	251,183	113,940	83	45.4%	137,243
336-D	147,352	16,306	13	11.1%	131,046
337-A	388,105	113,674	104	29.3%	274,431
337-B	176,808	22,395	17	12.7%	154,413
337-C	196,355	43,467	38	22.1%	152,888
337-D	126,273	27,120	23	21.5%	99,153
337-E	83,174	8,400	7	10.1%	74,774
全国	8,400,000	2,281,382	1,905	27.2%	6,118,618

# 国際協会の次の100年を見据えて

10月1〜5日、ハンガリーの首都ブダペストのヒルトン・ブダペストで国際理事会が開催された。山田實紘国際会長の指揮の下で実質的な審議が行われた最初の理事会だ。来年度で創設100周年を迎える世界最大の奉仕組織の運営を担う国際理事会の活動ぶりをリポートする。

## 自由と平和を希求した地で

ブダペストの街の美しさは、ヨーロッパでも有数と言われる。街の中央を流れるドナウ川には鎖橋を始め美しい橋々が架かり、日暮れと共に黄金色の光で彩られる。

ここにブダペストライオンズクラブが結成されたのは1988年12月。

東欧圏初のライオンズクラブ結成のニュースを、当時の『ライオン誌』

は「歴史的なエクステンション」の見出しで報じている。民主化運動の最中にあつたハンガリーでのエクステンションのうねりは、他の東欧諸国、更にはロシアへと広がった。

ハンガリーでは80年代初頭から経済自由化などの改革が進み、89年5

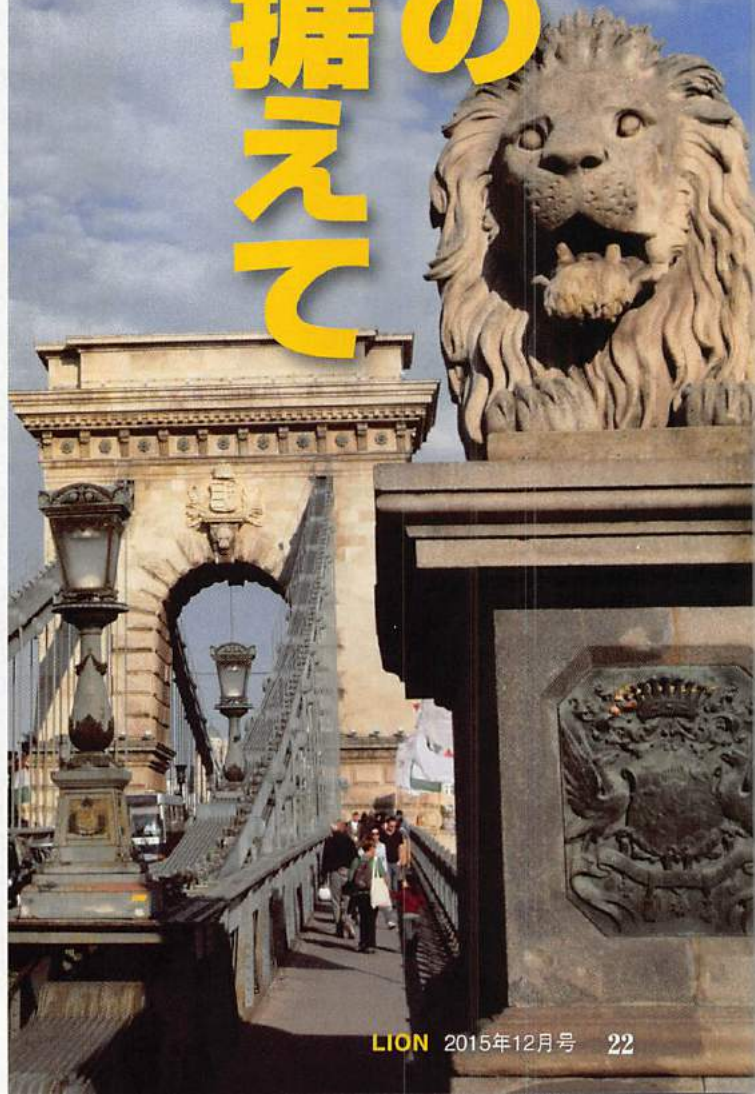
月にオーストリアとの国境が開放され、鉄のカーテンに風穴を空けた。

その年8月、およそ千人の東ドイツ市民がその国境を越えて亡命を果たす。汎ヨーロッパ・ピクニックと呼ばれるこの事件が、ベルリンの壁崩壊のきっかけになった。山田国際会長がブダペストを国際理事会の開催地に選んだ理由には、この民主化運動が深く関わっている。

国際協会の執行機関である国際理事会の定例会議は、年度内に4回開催される。1回目は国際大会の閉会直後、2回目は10月または11月、3回目は翌年3月または4月、4回目

は国際大会の直前だ。1回目は委員会構成が発表されて初会合が持たれる程度で、議案審議が行われるのは2回目以降の会議となる。これら定例会議のうち、秋と春の2回の日程と開催地は国際会長が決定する。山田国際会長を選んだのは、ハンガリー・ブダペストとアメリカ・ジョージア州サバンナだ。この2カ所を選んだことについて、山田会長は「どちらも自由と平和の希求を象徴する場所であり、『命の尊厳と和』というテーマにふさわしい場所」と説明していた。

山田会長とハンガリーとの交流は、



20年以上にわたって続いている。20数年前、ベルリンの壁崩壊の発端となった前述の汎ヨーロッパ・ピクニックに強い関心を寄せた山田会長は、その場所に桜を植え、井戸を掘るプロジェクトを企画し実現。そこは後に記念公園として整備された。更に岐阜県ハンガリー友好協会を発足させて交流を深め、日本の若い音楽家をブダペストにあるリスト音楽院に留学させるなど、息の長い草の根の



国際交流を続けている。そうした両国親善への貢献が認められ、2006年にはハンガリー共和国中十字勲章を授与された。

10月1日、理事会会議初日の開会式で、山田会長はハンガリーを「私の第2の故郷」と呼んで、出席した国際理事34人とアポインティー、同伴の配偶者らを歓迎した。

### 100周年の先の戦略

民主化を実現した東欧改革から25年余りを経た今、ヨーロッパには内戦が続くシリアやイラクから逃れた人々が押し寄せ、深刻な難民危機に直面している。9月初めにはブダペストの鉄道駅にドイツを指す難民が殺到し、一時閉鎖される騒ぎが起きたばかりだ。1日の開会式では運営役員による報告があり、ジョー・プレストンLCIF理事長による報告ではこの難民危機について、山田国際会長と協議の上でヨーロッパで支援に関わるライオンズのプロジェクトに対して交付金20万<sup>ドル</sup>の支出を決定したことが報告された。また山田国際会長の報告の中でも、難民危機はヨーロッパだけの問題ではなく国際的な人道支援としてライオンズに出来ることがあるはずだと述べて、専門家から情報を収集した上でこの



国際理事会の開会式。会場の正面に執行役員、両脇に国際理事、後方にはアポインティーが着席

問題に積極的に取り組む姿勢が示された。

開会式に続いては「我々の将来を描く」と題したプレゼンテーションが行われた。現在、2017年の創設100周年を記念する奉仕事業や会員増強のキャンペーンが展開中だが、長期計画委員会では既にその先を見据えた戦略を立案している。国際本部グローバル開発グループのケビン・チェレップ統括部長から説明された戦略計画「LCIFオーワード (Forward)」の主な目標は、2020年までに年間の奉仕受益者を2億人にする（現在報告されている奉仕事業の3倍）というもの。山田



西川理事が副委員長を務める大会委員会

会長はこの戦略について「次の100年に向けた最初の5年間に関する戦略であり、この計画を実行するために皆さんの貢献が重要だ」と述べて、各委員会会議でブレインストーミングを行い実行計画を話し合うよう促した。

今回の理事会日程は1日から5日までだが、委員会会議には1日午後から3日まで、日程の大半の時間が費やされた。

### 2日半にわたる委員会会議

理事会の会場となったヒルトン・ブダペストは王宮のある歴史地区にあり、ドナウ川と街を見下ろす絶好



安井理事が所属する奉仕事業委員会

のロケーションだ。とはいえ理事会メンバーには景色を楽しむ暇もなく、朝から夕刻までホテル内の会議室にこもり切りとなった。

会議室を行き来する理事たちが手にしているのは、タブレット端末iPad。かつては理事会会議の前に審議事項や資料を収めたファイルが送付されて、理事会の間中その分厚いファイルを持ち歩かなければならなかった。しかし5年前から、国際理事全員にiPadが支給されて、

就任後の研修会では使用方法の指導が行われている。理事会のスケジュールや連絡事項、会議資料など国際理事の活動に必要な情報は国際理事



佐藤理事が所属するリーダーシップ開発委員会

会専用アプリケーション「ボード・エフェクト (Board Effect)」を通じて提供されるので、これが無くては仕事にならない。そのため会場のホテル内ではホール、会議室、理事会メンバーやスタッフの客室でインターネットに接続出来るよう、専用回線を設置してWi-Fi環境を整えている。このペーパーレス化によって経費と共に、資料や報告書、決議事項の配布に要する時間と手間が大幅に削減された。

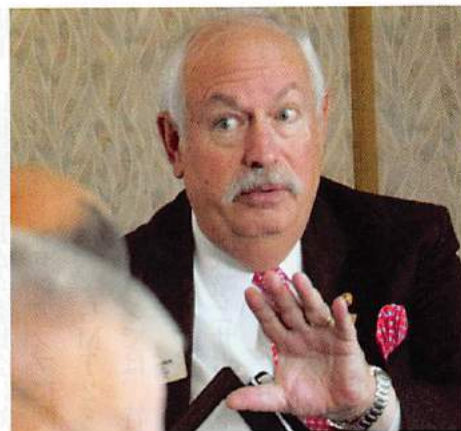
国際理事会には監査、会則及び付則、大会、地区及びクラブ・サービス、財務及び本部運営、リーダーシップ開発、長期計画、会員増強、P



鈴木アポイントナーが所属する会員増強委員会



R、奉仕事業の常設委員会がある。これに加えて特別委員会を設置することが出来、今年度は家族及び女性アクション委員会が設置されている。このうち他の委員会と兼任する委員がいる監査、家族及び女性アクション委員会の会議は開会式前日にあり、既に8月に開かれた長期計画委員会を除く八つの委員会会議が1日午後から行われた。会議には委員会所属の理事とアポイントイー、担当部署の部長が出席し、必要に応じて通訳スタッフが付く。



会議はまずホノルル国際大会の報告から始まり、福岡国際大会の進捗状況を確認。ホノルル国際大会で国際第3副会長を設置する国際会則改正案が可決され、福岡国際大会では国際第2、第3副会長の選挙が同時に行われるのに伴って、選挙演説の時



間配分などが協議された。西川理事以外の2人の委員も、国際大会開催が予定されているイタリア、シンガポールの理事が務めていることから、具体的かつ現実的な協議となった。奉仕事業委員会に所属しているのは1年目理事の安井克之理事。委員



長はニュージーランドのエリック・カーター理事で、キプロス、ドイツ、インドの理事と、LCIF理事会アポイントイーのウィンケン・タム元国際会長がアドバイザーとして加わっている。主な議案には、奉仕事業に関する評価報告や100周年奉仕事業キャンペーンなどがあり、データを確認しながら協議が進められた。カーター委員長は各委員に順番に発言を求めて意見を集約していった。委員会会議は委員長が議長役となつて進めるが、委員会によって会議の進め方や雰囲気は異なっている。他の委員会とは明らかに違っていたのが、1年目理事の佐藤宜之理事が所属するリーダーシップ開発委員会だ。会議室にはフリックボードが置かれ、委員長を務めるノルウェーのスヴェン・ベルンセン理事が、ブレ



ーンストミーニング形式で協議を進めていく。委員は佐藤理事の他、アメリカとカナダ、インドの理事、それにニュージーランドのアポイントという構成。協会が提供する研修をいかに充実させていくか、次々に意見が練り出されて、委員長が口をはさむのが難しいほどに議論が白熱する場面もあった。

委員会会議の最中には、山田国際会長ら執行役員が各会議室を訪れて、会議の進捗状況を確認したり、執行委員会としての懸案事項を伝えて付託したりする。また複数の委員会では合同会議を行ったり、他の委員会の会議室を訪れて協議を持ちかけることもある。

委員会会議に入って3日目、鈴木誓男アポイントが所属する会員増強委員会の会議室に執行役員が訪問し、山田国際会長から委員会に対してGMTのバージョンアップに関する提案がなされた。「GMT2・0」のプレゼンテーションでは、特定の地域を担当するスタッフを配置して地域性に即した戦略とサポートを行うことや、明確な目標の設定など、視力ファースト・キャンペーン(CSF II)を成功に導いた手法を用いる刷新案が提示された。会員増強委員会はこの提案に賛同。すぐ



国際理事会の会期中は、視覚障害者の世界を疑似体験するインビジブル博物館、地元ライオンズが支援する盲学校の見学、ハンガリー料理の教室などの配偶者向けプログラムが組まれていた。1891年に設立された盲学校では、小学生から社会人まで約200人が学習したり、職業訓練を受けたりしている。歴史ある校舎内にある美しい音楽ホールで、児童たちが澄んだ歌声と楽器演奏を披露してくれた

に執行委員と共に財務委員会の会議室を訪れ、GMT2・0に必要な予算増額を求めた。会員増強委員会の委員長はフィンランドのヨウコ・ルイサツロ理事で、インド、ネパール、アメリカの理事と鈴木アポイントという構成。100周年関連の施

策など多くの議案を抱えて、予定時間ぎりぎりまで真剣な議論が続いた。委員会会議が終わると、各委員会で協議の内容と決議事項を含めた報告書がまとめられ、すぐにボード・エフェクトにアップされる。理事会メンバーはあらかじめ委員会報告を

確認した上で、翌日の審議会に臨むことになる。

### 緊張感漂う審議会と最終会議

理事会会議の最後は全体会議となり、まず各委員会の報告に基づいて審議を行う審議会、続いて決議事項を採択する最終会議が開かれる。午前8時に始まった審議会冒頭のあいさつで、山田国際会長は次のように切り出した。

「皆さんの席に置いた血圧計は私からのプレゼントです。これから審議会が始まりますが、もし血圧が160を超えたら手を上げて審議を止めてください。すぐに医師を呼んで差



委員会ごとに着席して臨む審議会。後方は7カ国語の同時通訳ブース



理事会最終会議では各委員会の提出した決議事項の採決を行う

上げます。どうぞ安心して、熱心な討議をお願いします」

ドクターらしい山田会長のユーモアに大きな笑い声が響いた。こんなジョークのネタになるほどに、審議会は緊張感を伴うものなのだ。10年ほど前、日本の国際理事がこの審議会について「手厳しい質問が投げ掛けられ、日本人だったら3年ぐらい口をきかなくなるほど真剣で激しいやりとりになる」と話していた。幸い今回は血圧が急上昇するような激烈さは見られなかった。各委員会で十分に協議が尽くされた結果だろう。

審議会では各委員会の委員長が報告を終えることに山田国際会長がデイスカッションの有無を問い、続いて委員会の決議事項を1項目ずつ確認していく。会則及び付則委員会から国際理事会方針書の「善良な徳性の持ち主で、地域社会において声望のある」の解釈に関して報告があり、これに対して数人の理事から意見が相次ぐ場面はあったが、その他のほとんどの委員会報告は補足的な確認がなされる程度で承認された。

審議会は昼食をはさんで14時に終了し、最終会議は16時から始まった。この間に、審議会での修正を加えた委員会報告書の最終版がボード・エフェクトにアップされて、最終会議

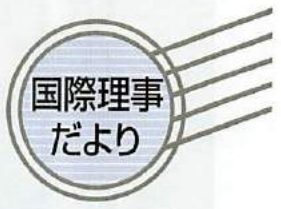


理事会の最終日はファミリーデー。配偶者らと共に国会議事堂を見学して、リスト音楽院の壮麗なホールで地元ライオンズ主催のコンサートを鑑賞した

の前に全理事の手元に届けられる。最終会議では各委員会の委員長が決議事項を1項目ずつ読み上げ、山田会長が採決を取っていく。全ての決議事項の審議は、審議会ですべて済んで30分ほどで終了した。

最終会議の最後には、協会の100年の足跡を振り返るビデオを鑑賞した。創設以来たゆみなく続いてきたその歩みを緩めることなく、いかにして奉仕のニーズに応えていくか。その舵取りが国際理事会が担う重要な使命だ。（取材／河村智子）

\*国際理事会決議要約は次号掲載予定



■国際理事  
安井克之  
(北海道・旭川東)

会員の皆様こんにちは！ 10月1日から5日までの5日間、山田實絃国際会長ゆかりの地ハンガリー・ブダペストにおいて、秋季国際理事会が開催されました。9月29日に羽田へ向けて旭川を出発、乗り継ぎのミュンヘン空港で佐藤宜之理事ご夫妻と合流し、23時半にブダペスト空港に到着、ホテルに入ったのは真夜中の0時半でした。

会場のヒルトンホテルは世界遺産のブダ城地区にあり、部屋の窓の外には「漁夫の砦」(世界一美しい砦とも言われるネオロマネスク様式の建築物)、その背後にはドナウ川がゆったりと流れ、対岸にはライトアップされた美しい国会議事堂を望みます。すばらしい風景に、夢の中でおとぎの国を見ているような思いでありました。

## ブダペスト国際理事会に出席して

る世界遺産の旧所名跡や自由市場などを見学しました。夜にはブダペスト歓迎理事会ディナー・ドナウ川クルーズがありました。

さて、10月1日からはいよいよ国際理事会です。朝8時から執行役員、運営役員、各委員会担当職員を含む、国際会長と委員会委員長会議があり、それが終わると9時半から理事会開会式及び研修会が開かれました。11時から戦略計画及び100周年に関する最新情報の説明がありました。

午後1時から八つの委員会に分かれて会議が持たれました。私の所属する奉仕事業委員会の委員長はエリック・カーター国際理事(ニュージラード)、副委員長はジョージ・パパス国際理事(キプロス)です。委員はヘルムット・マルハワー国際理事(ドイツ)と私の2人。またアドバイザーとしてウインケン・タム元国際会長(私ガバナリーの時の会長)がおられ、とても頼りになる存在です。国際本部の

委員会担当職員として、ジーナ・プレンデイ女史(アメリカ)が付きま

す。会議冒頭、このジーナから「LCIサービス・アセスメント」に関する説明がありました。グラント・ソントン

という組織が実施したライオンズの事業の評価報告書が、英語、ドイツ語、

日本語で配られ、その内容を元に協議を行いました。グラント・ソントンは

世界中に拠点を置く国際会計事務所グループですが、さまざまなアドバイザ

リー・サービスも行っています。こうした第3者による評価も鑑みつつ、今

後の奉仕事業の取捨選択、及び協会創設100周年とその先に向けた活動内容について協議を詰めていきます。

ブダペスト国際理事會決議要録は後に『ライオン誌』に掲載されますので、各委員会の決議事項についてはそちらをご覧ください。

次回の国際理事會は来年3月1日から、アメリカ・ジョージア州サバンナで開催されます。

ライオンズ・ニュース・カセット

# LIONS NEWS CASSETTE

## ノーベル賞とオンコセルカ症根絶を目指す視力ファーストの活動

今年のノーベル生理学・医学賞受賞が決まった大村智北里大学特別榮譽教授の受賞理由は、寄生虫病に対する新しい治療法の発見。大村教授が発見した微生物由来の物質を用いて開発された抗寄生虫薬「イベルメクチン（商品名メクチザン）」は、オンコセルカ症（河川失明症）の予防・治療の特効薬として多くの人を失明の危機から救った。WHOは1987年から、アメリカの製薬会社メルク社から無償提供を受け、アフリカや南米でイベルメクチンを配布するプログラムに取り組んでいる。

LCIFの視力ファースト・プログラムは1993年からオンコセルカ症の根絶に取り組み、

99年からはカーター・センターと提携して活動を展開してきた。メルク社の協力により無料で提供されたイベルメクチンを、アフリカと南米の15カ国で1億4800万人に配布。また配布を担う地域ボランティア51万人余りのトレーニングも支援している。これら視力ファーストの活動は、日本のライオンズが多大な貢献をしたキャンペーン視力ファースト（CSF）、CSF IIで集まった資金に支えられている。



身長を計測して適量のイベルメクチンを処方し配布するライオンズ（1995年9月）

成果を上げ、2013年にはコロンビア、翌14年にはエクアドルにおいて、オンコセルカ症の脅威からの開放が宣言された。

## ジョー・プレストンLCIF理事長セミナー開催

ジョー・プレストンLCIF理事長が10月12日に来日し、日本におけるLCIF交付金事業の視察とLCIFセミナーが行われた。プレストン理事長は13日、施設建設にLCIF交付金の援助を受けた山形県寒河江市の障害者福祉施設さくらんぼ共生園と、東日本震災で甚大な被害を受けた宮城県名取市閑上地区を訪問し、視察を行った。15日には東京のホテルニューオータニにおいてLCIF理事長セミナーが開催された。プレストン理事長は昨年度、520件



5250万ドルを超える交付金を提供したこと、このうち日本に対しては63件186万9722ドルが交付されたことを報告。また昨年度末に東日本大震災に対する総額2200万ドルの指定交付金事業の最終報告書が提出されて、LCIF交付金が適切に被災地の復興支援に活用されたことを報告し、LCIFの目的は世界中のライオンズの活動を支援することにあると述べた。また、最新の話題として1200万人以上に影響が及んでいるとされるシリア難民危機に対して20万ドルの交付を決めると共に、ヨーロッパの関係8カ国のメンバーを入れたステアリング委員会を立ち上げたことや、ビル&メリンダ・ゲイツ財団及びGAVIとの連携による、はしかイニシアチブの取り組みを紹介した。その上でプレストン理事長は「増え続けているグローバルなニーズに応えるためには支援を増やす必要がある」と述べて、LCIFへのより一層の支援を求めた。

## 1月の世界奉仕ウィークのテーマは 飢餓と貧困の解消

2016年1月10日～16日は、飢餓と貧困の解消に向けた世界奉仕ウィークが実施される。四つの奉仕分野（青少年・視力・飢餓・環境）で1億人に奉仕する100周年記念奉仕チャレンジの目標達成を目指し、世界中のクラブが一斉に活動を展開しようというのが世界奉仕ウィーク。1月のテーマは飢餓と貧困の解消で、国際協会が提供する企画ガイドは、地域のフードバンクへの食料提供や、ホームレス保護施設で



の食事提供などの事業を挙げている。10月末現在、100周年記念奉仕チャレンジは、5700万

人を達成しているが、青少年と環境が目標の2500万人の半数を超えた一方、視力と飢餓はまだ半数に届いていない。世界奉仕ウィークの情報や企画ガイドは、国際協会ウェブサイト内にある100周年記念の特設ページ ([lions100.lionsclubs.org/JA/](http://lions100.lionsclubs.org/JA/)) に掲載。

## 100周年記念の特別なニューメンバーキット

100周年記念会会員増強賞の対象期間である15年4月から18年6月30日の期間中を入会日として国際本部に報告された新会員とそのスポンサーには特別なニューメンバーキットが贈られる。キットに含まれる証明書や新



会員用襟章には100周年記念を意味する「CENTENNIAL」の文字が入り、スポンサー向け襟章も贈呈される。ニューメンバーキットに関する問い合わせはライオンズクラブ国際協会日本事務所（Eメール：[lcjapan@amber.plala.or.jp](mailto:lcjapan@amber.plala.or.jp) TEL: 03-3494-2931）へ。

## 女性会員の割合は世界で27%、日本は25%

10月21日に開かれたFWT全日本女性シンポジウム（5次）で、国際理事会の家族及び女性アクション委員長を務めるカーラ・ハリス国際理事から、家族及び女性に関連するデータ（8月末現在）が示された。

それによると、女性会員の割合は会則地域I（アメリカ及びその領域、バミューダ、バハマ諸島）29%、II（カナダ）29%、III（南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島）44%、IV（ヨーロッパ）21%、V（東洋・東南アジア）25%、VI（インド、南アジア、アフリカ及び中東）23%、VII（オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島）34%。日本の女性会員の割合は25%で、全世界の27%に迫っている。一方、女性リーダーの割合に関するデータでは、会則地域I 36%、II 29%、III 35%、IV 26%、V 21%、VI 13%、VII 30%で、VとVIが世界平均の25%を下回っている。更に日本における女性リーダーの割合は5%というデータも示された。今年度、世界の地区ガバナリーに占める女性の割合は20.0%、協議会議長では21.4%、

国際理事では8・8%だが、日本はいずれの役職にも女性は就任していない。

## 会議録

- 第1回複合地区YCE委員長連絡会議要録（9月14日）①世話人の互選②複合地区YCE委員長の手引き③本年度活動計画④海外通信窓口担当地区の確認と業務内容⑤各地区旅行代理店の確認と業務内容⑥前年度からの申し送り事項⑦2014・15年度YCE委員長連絡会議収支会計報告⑧冬期交換⑨2014・15年度夏期来日について336複合地区からのお願ひ事項
- 第1回複合地区国際大会委員長連絡会議要録（9月16日）①世話人、副世話人の互選②国際大会委員長連絡会議の任務及び実務③第98回ホノルル国際大会④第54回東洋・東南アジア・フオーラム⑤第99回福岡国際大会
- 第3回ライオン誌日本語版委員会（10月1日）①ライオン誌日本語版事務所の運営②事務所統合委員会③2015年10月号（9月18日見本／9万6600部発行）出来④11月号記事内容の確認⑤12月号以降台割（案）と主要記事予定
- ⑥ライオン誌デジタル化⑦その他
- 第1回複合地区会則委員長連絡会議要録（10月9日）①連絡会議世話人、副世話人の互選②2015年会則・付則改正の確認③2015年ホノルル国際理事会決議事項要約の確認④ライオンズ必携、ライオンズクラブ役員必携の製作
- ⑤複合地区会則改正要望（333複合地区）
- 第1回LCIF国際委員エリア・複合地区コ

ーディネーター会議要録（10月14日）①ジョー・プレストンLCIF理事長あいさつ並びに講演②LCIFの方針及び助言（LCIF開発課OSEAL担当課長クリストファー・プランケット）③協議事項・LCIF理事長公式訪問並びにセミナー（10月15日）事前打ち合わせ

■第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（10月15日）【第I部】①秋季国際理事會報告②LCIF報告③LCIF研修会案内（国際委員会）【第II部】④山田国際会長複合地区別公式訪問日程情報⑤議長連絡会議と麻葉・覚せい剤乱用防止センターとの合意文書⑥第54回OSEALフオーラム関連（12月3～6日タイ・バンコク）⑦第99回国際大会早期登録のお願い（2016年6月24～28日福岡市）⑧第3回日本ライオンズ事務所統合委員会会議報告⑨OSEALフオーラム誘致準備（336複合地区）⑩「倫理委員会」の設置⑪2020東京オリンピック・パラリンピック支援金口座⑫その他⑬各種会議要録⑭日本ライオンズ連絡事務所運営関係

## 新結成／解散／クラブ名称変更

### ■新結成クラブ

大阪府・枚方シニア（原田陽造会長／31人）▼  
10月27日認証▼スポンサー／枚方

### ■解散クラブ

10月11日栃木県・宇都宮いちよう

### ■クラブ名称変更

埼玉県・嵐山玉川↓嵐山ときがわ  
茨城県・やわら↓つくばみらい

## 訃報

### ■元国際役員

植本辰雄（岡山）

7月11日死去。96歳。93年度336複合地区ガバナー協議会議長、336・B地区ガバナー。

### ■献眼者

8月11日奥村喜信（茨城県・下館市）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 国際大会開催予定

■第99回16年6月24日～28日／日本・福岡  
■第100回17年6月30日～7月4日／アメリカ・イリノイ州シカゴ  
■第101回18年6月29日～7月3日／アメリカ・ネバダ州ラスベガス  
■第102回19年7月5日～9日／イタリア・ミラノ  
■第103回20年6月26日～30日／シンガポール



## 会員増強計画レポート③

◎西日本担当FWTエリアリーダー報告

◎8、9月第1位：335-B地区ガバナー報告

### 9月新会員数ベスト6地区



☆第1位 335-B地区  
130人(累計329)増  
中村猛地区ガバナー



☆第2位 336-C地区  
125人(累計205)増  
片岡文彰地区ガバナー



☆第3位 336-D地区  
106人(累計189)増  
矢野敏明地区ガバナー



☆第4位 337-A地区  
77人(累計253)増  
藤井勝彦地区ガバナー



☆第5位 334-A地区  
57人(累計221)増  
加藤史典地区ガバナー



☆第6位 330-A地区  
46人(累計184)増  
近藤正彦地区ガバナー

(国際本部集計/9月末現在)

◎アスク1はファミリーから



FWTエリアリーダー  
西日本担当/松前龍宗

ハワイ・ホノルル国際大会で、山田實紘国際会長が「命の尊厳と和」のテーマを表明されました。和の大切さは家族愛と母性愛が原点、大和なでしこの精神が基本と、世界に先駆け日本にFWTを創設。会員増強に「アスク1はファミリーから」と大推進して頂き、家族奉仕力と女性奉仕力の相乗効果で日本の奉仕力の増強を目指しています。今特に、ソフトケアや24時間の天災災害対応が求められています。安心・安全な社会を形成するためにも、家族の絆を大切にしたい「思いやり・おもてなし」の気遣いと心配りある、優しいFWT奉仕活動が大きな原動力となり

ます。クラブ、ゾーン、リジョン、地区において、少なくとも現会員の1割には家族会員5人体制(世帯主会員1人に子会員4人のプラス登録)を構築願います。

第99回福岡国際大会ではスポンサー会員、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区ガバナー全員で、100周年記念アワード受賞の祝杯を上げましょう。

◎8、9月第1位：335・B地区  
会員増強計画の取り組み

地区ガバナー/中村猛  
今年度、会員増強とアクティビティの刷新を図る2本柱の運営方針を掲げ、地区ガバナー公式訪問で各クラブに、この両輪の取り組みを一体化して発展につなげようと呼び掛けました。

GM T、GL Tと共に今年度発足したFWTをGM Tから独立させ、またシニアアクション委員会を設立してシニア世代の会員増強と活性化を図りました。会員増強ははつきりと数字で示されるため、やる気と情熱が最も大切です。会員増強目標とその実行計画の報告書を各クラブと会員増強チーム会議との間に設け、その情報共有化を図り、検証を新たな目標としました。

335・B地区はこの2年間純増となっていますが、これは家族会員の入会増退会をくい止め、家族会員と共に一般正会員の増強に力を入れ、団結と質の高いやりがいあるライオンズクラブの運営で、はるか遠い道のりを、志を同じくする仲間と共に楽しく、がんばってまいります。



# 福岡国際大会への道

4

## 豊かな日本文化を伝えるインターナショナル・ショー



Do for People  
Do for World

国際大会登録方法について  
16年ぶりに日本で開催される国際大会には、日本から多くの登録が期待されます。

国際協会からの提案で国内の会員の皆様の便宜を図る目的で、クラブ単位で各準地区のキャビネット事務局を通じて団体登録をすることとなりました。

納めて頂きます。手続きの詳細はクラブ事務局へお問い合わせください。

国際大会に関する情報や行事予定、開催都市である福岡市の観光や食事、宿泊等についてはホスト委員会のホームページ (lions99-jukuokajp) でご案内しておりますので、ぜひご参照ください。

クラブ事務局へ登録の申し込みをすると、事務局が所定の「国際大会グループ登録申込書」に必要事項を記入して、準地区キャビネット事務局を通じて国際協会太平洋アジア課へ提出するという仕組みです。

大会登録料(早期登録料は130ドル)の支払いもクラブ事務局へ

インターナショナル・ショーに  
谷村新司氏の出演決定

16年6月25日、福岡ヤフオク!ドームにて開催される第99回ライオンズクラブ国際大会のインターナショナル・ショーに、日本を代表するアーティスト、谷村新司氏の出演が決定しました。

谷村氏は72年に「アリス」とし

てデビュー以来数々のヒット曲を発表。その後、ソロアーティストとして「昴」「いい日旅立ち」などのスタンダード・ナンバーを世に送り出し、本年春の紫綬褒章を受賞されました。音楽を通じた慈善活動も国内外で展開され、東日本大震災後には「ココロの学校」今伝えたい」と題して、岩手・

ショーへの出演を快諾されたのは、不老安正ホスト委員長が谷村ご夫妻と会談し双方の活動について熱く語り合う中で、自身の活動がライオンズの活動と非常に近いと感じられ、大会へご賛同くださったためです。今回のステージでは福岡ならではの趣向として、谷村氏と、九州が誇る九州交響楽団との共演も予定されています。



更に、第51回 OSEAL フォーラム開会式にも登場した「DRUM TAO (タオ)」も出演予定です。世界20カ国以上の公演で650万人以上の動員を果たした、圧巻のステージが繰り広げられます。世界各国から参加されるライオンズの皆様に、アジア及び日本文化の奥深さを音楽を通して豊かに伝える、魅力的な舞台となることを期待されます。

このインターナショナル・ショー

宮城・福島県の東北3県でトーク&ライブ支援キャラバンを開催されました。また、約20年間でASEAN諸国を2周しながら参加国のトップアーティストと共演し、音楽による国際交流の中心となって活動を続けてこられました。

谷村氏がインターナショナル・

員会/PR委員会

# USA/カナダ・フォーラム

9月17日〜19日、第I、第II会則地域合同のUSA/カナダ・フォーラムが、アメリカ・ミシガン州グランドラピッツのデヴォス・プレイスで開催された。今回で39回目となる。毎年、3千人程度が参加し、100を超えるセミナーが開催される。開会式、閉会式は特になく、ショーも簡素。英語という共通言語があることも理由だろうが、参加者同士のコミュニケーションが目立つ。参加者の学習意欲を強く感じるフォーラムだった。

(取材/ライオン誌日本語版委員 中嶋辛)



第I会則地域：アメリカ及びその領域、バミューダ、バハマ諸島

- クラブ数：1万1,839クラブ
- 会員数：33万409人

第II会則地域：カナダ

- クラブ数：1,566クラブ
- 会員数：3万6,470人

(2015年9月末現在)

北海道・室蘭の自宅を出発したのは9月16日11時のことだった。新千歳空港まで車で向かい、成田、シカゴを経由して目的地ミシガン州グランドラピッツに着いたのは約24時間後。現地時間16日夜8時頃。長い旅であった。

グランドラピッツはミシガン州でデトロイトに次ぐ第2の都市。US

A/カナダ・フォーラムの会場となったのはダウンタウンに位置するデヴォス・プレイス。その脇には町の名前の由来ともなったグランド川が流れ、川向こうにはフォード大統領博物館と、1854年に開館した、全米でも最古の部類に入るグランドラピッツ公立博物館がある。町の人口は約19万人。大学もあり、栄えている印象を受けたが、会場周辺にコンビニ、スーパー、ショッピングセンターが一切ないのには驚いた。

## 登録キットはホテルで受け取り

フォーラムの登録はウェブ上で行う。登録時に希望のホテルを選び、クレジットカードを登録すれば、予約が完了するシステムだ。また、登録が済むとIDが発行され、登録者用のページを閲覧出来る。登録キットの受け取りは登録時に選んだホテルのロビー。ホテルを登録しなかった人は会場で受け取れる。このため、



受付に長い行列が出来ることはない。登録証のストラップの色がホテルにより違っており、その色によって夕食会の座席が分けられている。夕食会などの入場も色ごとに行われるため、大きな混乱が起ることもない。工夫されたシステムだと感じた。

会場には案内看板、垂れ幕などは一切ない。登録人数約3千人のフォーラムで案内がないというのは、それだけでも新鮮だったが、驚いたのは開会式がないことだ。その代わり、常時10以上の会場でセミナーが行われている。3日間で延べ120以上のセミナーが開講されていた。ホテルでの登録キットの受け取りブースも2日目には撤去されており、会場の入り口に小さな立て看板があるだけだ。参加者がセミナーを主な目的として来ているのが分かる。また、余分なところにお金を掛けず、運営している印象を受けた。

山田實絨国際会長が地区ガバナーに向けて実施したセミナーで印象に残ったのは、ガバナーの半数近くが女性だったことだ。OSEALのフォーラムで見受けられる写真撮影やあいさつに夢中な人は皆無。一人ひとりが真剣に耳を傾けていた。また、夫婦や家族で参加しているメンバーも多く見られ、家族で奉仕をすると



山田實紘国際会長が地区ガバナーや、クラブ会長を対象としたセミナーに登壇。質疑応答のコーナーではかなり内容に踏み込んだ質問が目立った。また、女性メンバーが半数近くを占めたり、タブレット端末やスマートフォンでメモをとる人がいたり北米らしい雰囲気

いうことの本質を見た気がした。

出口で来年の福岡国際大会のPRをしながら各地のガバナーに話し掛けたところ、「遠くからご苦労様」「わざわざありがとうございます」と声を掛けてくださる方が多かった。また、「夫が数年前ガバナーをやりました、今は私がガバナーをしています」という方や日本人の夫人を持ち2年程沖繩にいたという海兵隊出身のガバナーとも出会い、それぞれジョークを交えて楽しい話をしてくれた。PRの反響は良く、ほっとした一幕だった。

他のセミナーでは講師と会場の参加者との質疑応答で進んでいくものもあり、日本ではあまり見かけない進め方だと思った。時間配分も上手で講師の時間の使い方・進め方等参考になった。

### 夕食会も勉強の一環

午後のセミナーの後、18時からは夕食会だ。参加者は約2千人。会食はバイキング形式。2千人もいると混雑しそうだが、司会者に番号をコ

糖尿病啓発運動のストライドではグランド川沿いを歩き、夕食会ではメンバーがピエロに扮した

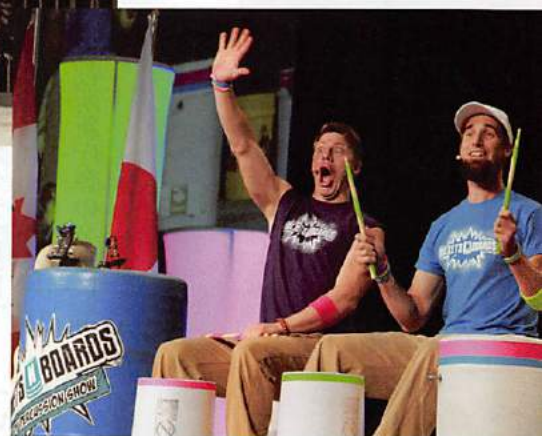


### 他国の状況を知る良い機会

ールされたテーブルの人たちのみが食事を取りに行くシステム。混乱せずにはスムーズだった。日本などの進め方とは少し違う。アルコールは一切なし。出演者二人だけのショーが始まり会場を和やかにする。ショーでは参加者を舞台に呼ぶなど、会場も巻き込んだ展開を見せていた。O S E A L フォーラムで行われるような派手なショーなどはない。LCIFの活動ビデオ等が流れ、夕食会も勉強会の一部である雰囲気だ。最終日の夕食会ではメルビン・ジョーンズの足跡を映像で振り返る。途中、時代背景に合ったコーラスとダンスが披露されたり、ヘレン・ケラーのスピーチを役者に再現させたりするなど、演出も多彩。観客が飽きずに歴史を学べるよう、工夫されていた。

夕食会のテーブルで一緒になったアメリカの元国際理事からは、日本の会費について質問があった。自分のクラブは年会費が15万円で、年間予算は200万円から400万円であると言えらると、なぜそんなに会費が必要なのかと驚いた様子。アメリカはどこも年間70ドルから80ドルだと説明され、今度はこちらが驚く番だっ

た。必要な事業費はアクティビティで集めるが、私たちは日本の年間予算以上を集めているという話で、会員増強のためには日本も会費の問題を検討すべきではないかと感じた。アメリカの資金獲得事業はパンケーキを焼いたり、ダンスパーティーを開いたり。特別なことをしているとは



恐らく、クラブに戻ってフォーラムで得たことを皆に伝えて、互いにレベルアップを図るのだと強く感じた。

印象に残ったのは、夕食会でもそうだが、私がアジア人であるということを見て、話し掛けてくる人が多かったことだ。

他国のメンバーや、ライオンズの現状を知りたいという意欲が表れていた。OSEALではなかなか他国のメンバーに話し掛ける人はいないため、これには驚いた。

思えなかったが、それだけの会費で賄えているということは、運営費をあまり掛けていないということだろう。

3日間取材して感じたことは、今回のフォーラムが徹底して余分な所に金を掛けていないこと。また、参加者のため、ライオンズのため、私たちは「奉仕」を

しているのだ、というのを再確認した。このフォーラムの参加メンバーは純粋に勉強に来ているし、

もちろん、OSEALと違い、共通言語が英語一つであることも話し掛けやすい理由だろう。いくら他国のメンバーと交流しようとしても、互いに母国語以外で会話しなくてはならない場合が多いOSEALの難しさもある。ともあれ、他国のライオンズに興味を持つ姿勢は学ぶべきところが大きい。

OSEALにはOSEALのやり方があるだろう。だが、それぞれの良いところを伸ばし、他の会則地域の良いところを見習っていく姿勢も必要だ。今回のフォーラム取材を通じて、日本のライオンズクラブでは当たり前すぎて見ていなかった面を改めて考えてみようと思った。山田實絃国際会長もこう語っている。

「私は国際本部の国際会長室に日本刀を二振り置いています。この日本刀で要らないものは切っていく。次の世代につながる改革のために振り下ろそうと思っています」と。だが、同時にこうも言っている。「手術と

いうのは切り過ぎると危険である。メスの使い方はほどほどにしなければいけないのだ」。

フォーラムが終わった翌朝6時にランドラピッツを出発。自宅に着いたのはその27時間後だった。4泊6日。少し疲れたというのが本音だが、私自身勉強になったフォーラムだった。

フォーラム会場には盲導犬育成など奉仕事業に関する展示ブースが設けられていた







石下総合体育館の玄関前で炊き出しをする取手、取手中央両クラブのメンバーたち



石下総合体育館の食事スペース

もある北海道地区のふれあい館に移転してきたため、8日からはふれあい館を拠点として31日まで毎日炊き出し奉仕を継続。メニューは担当するクラブがそれぞれ趣向を凝らし、温玉から揚げ丼、かき揚げうどんとそば、つみれ汁、ませご飯とポテトサラダ・味噌汁、カレーと豚汁、焼きそば、カツカレー、けんちんうどん、シチューとさんま塩焼きなどを提供した。また、10月17日には岩手県大槌町の若手有志による三陸秋の味覚海鮮汁、27日には福島県浪江町の「浪江焼麺太国レギュラー麺バー」による浪江焼きそばなど、東日本大震災の被災地からもライオンズを通じた炊き出し奉仕があり、避難生活を送る人たちに勇気を与えた。

(取材／鈴木秀晃)

## 支援から「支縁」へ

菅原 康雄

(宮城県・仙台高砂ライオンズ倶)

すがわら・やすお 1947年宮城県塩釜市生まれ。菅原動物病院院長。88年入会。98年度クラブ会長。15年度地区LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会委員長。



千年に一度の災害と言われた東日本大震災が発生したあの日、私は自身の経営する動物病院に隣接する動物看護師養成学校に居りました。災害時に使用する動物のゲージを調整していたところに、突然の大きな揺れ。収まってから外に出て写真を撮り、病院に戻りました。院長室と診察室は書籍や器具機材が床に散乱し、

足の踏み場も無い状態でしたが、従業員にけがはありませんでした。2階の自宅に駆け上がり家族の安否を確認。以前から減災に注力し家具の転倒防止を徹底していたおかげで、揺れによる被害は何とか免れました。が、それからが大変。「日本一災害に強い町づくり」と銘打ってがんばってきたライオンズクラブの会員

であり、町内会会長である私は、片手に拡声器を持って動物病院を飛び出しました。毎年クラブ会員、町内の住民とこの日のために続けてきた地域防災訓練の成果が問われる時が来たのです。

福住町内会の集会所には、町の役員が自宅からの道中に割り当てられた重要支援者の安否、声掛けを終えて、30分以内に次々と集まってきました。「この町からは一人の犠牲者も出さない」。意気込み通り全員無事だったことは、何よりうれしいことでした。

3月11日は夕方から小雪が舞い、集会所には余震におびえる住民が100人近くと犬1頭が避難してきました。水道、電気、ガスが順次止まる中、即刻夕食作りです。水、プロパン、照明を確保、毛布も配り、全ては訓練通りに運びました。

食料が尽き始めた4日目、8年前から災害時相互協力協定を結んでいた複数の団体や、交流のある団体から差し入れが届きました。集会所に入りきらない程の食糧や物資は、私だけではなく役員、住民、全ての人々の心に歓喜の光を与えてくれました。こうした日のために交流と信頼関係を深めてきた同士の絆を心底から感じました。中には片道8時間

掛けて支援物資と義援金を届けてくれた団体もありました。

一部のメンバー以外、町内住民は津波の被害は免れました。そこで支援物資を提供くださった方々の快諾を得て、クラブ会員と町内会役員全員で津波被災者の方々へこれらを搬送することを決め、震災5日目から活動を開始。南三陸志津川ライオンズクラブや、公的支援を受けられず困窮する人々へと、宮城、岩手の沿岸部へ毎日のように車を走らせました。必要なものをメモし、要望に応えようと福住町役員全員、自分たちの家族も顧みず必死で往復しました。

少し落ち着いてからは、物資ではなくメンタルヘルスケアに力を注ぎました。仮設住宅等に場所をお借りして、犬、猫、ウサギ、モルモットを連れて行き触れ合ってもらったり、レインボーカラー綿あめ、ポップコーンを提供したり、私が所有を許可されたジャイアントパンダのはく製も連れて行きました。

それ以来、今もこうした活動を続行しております。さまざまな取り組みを通して出会ったたくさんの方々、全国からのボランティアの方々、いざという時にはこんなにも優しさが集結することを心に深く刻んだ日々でした。



# 獅子吼

## ●獅子吼(ししく)

①私が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えている語。

②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

## ●投稿要領:

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

## 「ライオンズの誓い」を胸に

赤坂勝(岩手県・盛岡)

5月16日、330・A地区(東京)の年次大会記念事業として、岩手県滝沢市にある岩手産業文化センターアピオで、「東日本大震災被災者・障害のある方々へ光を」が開催されました。岩手県内から障害を持つ方々350人が参加し、漫才や手品などを見たり、生演奏に合わせて芝生のグラウンドで歌ったり踊ったりと、思い切り楽しみました。

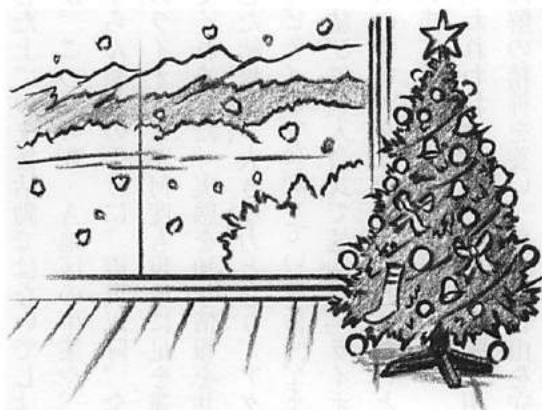
330・A地区と当332・B地区との事前の打ち合わせ会の席上、盛岡ライオンズから始まった「ずずらん給食」が話題になりました。自分のクラブのことでしたので、少し驚いた次第です。

当クラブは4月26日に55周年記念式典を行いました。ずずらん給食のアクティビティからは50周年になります。私が入会した二十余年前には、入会式で会長からずずらん給食の説明を聞き、過去の記念誌を読んだものでした。

ところで、前野和久著『ずずらん給食物語…私のジャーナリズム作法』という本をご存じでしょうか。筆者の前

野さんこそ、当時毎日新聞の盛岡支局勤務で記事を書いていた人物です。ジャーナリストの視点で書かれているので、興味深い内容になっています。

巻頭の一部を抜粋すると、「先生、おらあえ(家) 食いものなくてみんな死ぬ」と訴える子など……。これを知った盛岡ライオンズ(今野梓会長ら七一人)が、東京、日本橋両ライオンズクラブと協力、給食資金を



イラスト/小川和政

贈ろうと話し合い、(昭和四〇年六月)7日、給食資金の一部が贈られた(赤坂注・盛岡ライオンズクラブは資金の他に設備備品も贈っています)。子供たちはお礼にと、地元の香り高いずずらんをつんで、ライオンズクラブに送ることにした。学校ではこの資金による給食を『ずずらん給食』と呼び、完全給食を実施したいといっている」

と書いてあります。また、「昭和40年6月の朝刊に『岩手のへき地にずずらん給食』『弁当もなく冷害の子』『腹がへって病気に』『ライオンズクラブが救いの手』という六段抜きの見出しでこんな記事が掲載された。(略)この記事がきっかけになって、全国のへき地に完全給食をとという運動が起きた」

と当時の佐藤栄作首相が予備費から5億円を緊急支出し、全国のへき地で完全給食をするよう閣議で支持することに結びついたことが書かれています。またこの本を読むと、全てがスムーズに進んだわけではなく、「中央と地方」「学校と行政」など立場が異なれば受け止め方から対応も異なり、葛藤があったことも分かります。

50年が経ち、社会が複雑化して、支援する内容も物から物心両面に変わりました。しかし、この間もライオンズの精神は不変であったと感じています。

今回の330・A地区の「東日本大震災被災者・障害のある方々へ光を」は、被災地の社会福祉協議会、地元クラブと調整を取りながら行われました。資金確保のために、東京・池袋の東京芸術劇場で「郷ひろみコンサート」を実施すると共に、会場前の公園で「被災地物産展」を開催。記念事業の当日は、塩月藤太郎330・A地区ガバナー（当時）を筆頭に、多くの会員が産業文化センターアピオに集結されました。

昨今は被災地の人口減少問題がクローズアップされていますが、大切なのは地域住民の立場になり、実態を把握

した上での支援活動ではないでしょうか。この度の330・A地区の事業や、ずらん給食のように。震災以降、全国のライオンズが何度も現地へ足を運んでくれました。実態を知り情報を共有した結果が、大きな力となり、アクティビティにつながっていると思います。

結びに、入会式で読んだ「ライオンズの誓い」を改めてかみしめたいと思います。

「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

（94年入会／13年度クラブ会長／57歳）

## 「までいライフ」と「引き算の暮らし方」

菅野 典雄（福島県・飯館）

私たち日本人は戦後の経済成長の過程において、より多くの新しい「モノ」を次々と持つことで夢をかなえてきました。「たくさん持つ」ことが幸せの指標であったのです。よって日本人の暮らしは、ある意味で多くのモノに埋め尽くされています。ヨーロッパなどでよく聞かれる「これはおじいさんの時

代からのモノ」というような、少ないモノを長く使うシンプルな生活は、日本ではほとんど聞かれませんが、世界的に見ても、日本人の家の数の中には日本人特有の「もったいない」「まだ使えるはず」という、モノを大切に

私が村長を務める飯館村で進めてきた「までいライフ」そのものでありましょう（「までい」とは、「手間暇を惜しまず」「心を込めて」「丁寧」「慎ましく」といった意味の方言で、飯館村では自立を目指す村づくりの基本理念として、「までいライフ」を掲げてきました）。

ところで、東日本大震災後に起きた福島原子力発電所の事故により、原発から約25キロ西に位置する飯館村は全村避難を余儀なくされました。そうした中で、「何ということもない日常が、いかにありがたいか」に改めて気付かされました。

避難生活は5年近く続いています。村民たちが家に残してきて使えなくなってしまうモノや、もう不要と思われるモノを処分するために、環境省は飯館村小宮地区に仮設焼却施設を設置し、ここで燃やせるようにしました。人によってはこの機会にと、大型ダンブで3台も4台も出した方もいるようです。

これからの時代を考えると、確かにこれまでの「足し算の暮らし方」から「引き算の暮らし方」へ変えていかねばならないはずですから、モノを減らす機会と捉えることも出来るでしょう。引き算の暮らしはむしろ、心のゆとりを育てることに成るべきです。

モノを大切にすることも大事。しかし、

最低限必要な所有物でシンプルな暮らし方をする「引き算の暮らし」を心掛けることが、大切な時代に入っていることも確かです。

難しいかもしれませんが、今回の家庭ごみ焼却事業は、私たちにモノを大

## これからの

## ライオンズクラブの活動に対する要望

切にする「までいライフ」と「引き算の暮らし方」のバランスをどうやって取るかというのを、もう一度考える機会を与えてくれたとも考えられるのではないのでしょうか。

(1989年入会/69歳)

雪本 利博 (大阪府・泉大津)

私はライオンズに入会して22年になり、一昨年度はクラブ会長を務めさせて頂きました。そしてこの頃思うこと

があります。

ライオンズクラブが担っている役割は大変大きなものだと感じたのです。世界最大の奉仕団体で影響力のあるライオンズクラブならば可能ではないかと思うものを書き記してみました。

①「環境問題の幼児教育」…命の存続に欠かせない環境問題「ガラスの地球を救え」

幼児教育の段階から環境教育を取り入れ、全世界で推進します。10年、20年、30年先を見据えた環境教育を行うことにより、世界中で起きている風水害、大気汚染、河川の汚染、地球温暖化問題、飲料水問題、ごみ問題などを少しでも無くし、自然界の回復力を助

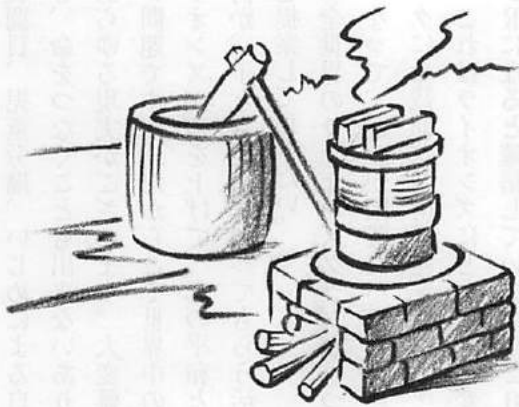
けることが出来ると思います。子どもの時に学ばなければ、大人になってからは身に付かないとのこと。

南極大陸で観測史上最高気温17.5度を記録したというニュースを聞きました。安全な飲料水が無いために年間200万人の子どもの命を落としている現状があり、国家間の水紛争問題に発展するとまで言われています。遠くまで水くみに行くために学校に通えなかつたり、地雷だけがをす子どもがいます。汚れた空気を吸って身体を壊す子どもたちがいます。

日本ではさまざまな物資が簡単に入手出来るため、使い捨てや食べ物の廃棄がごみを増やす原因の一つです。なぜそのようなことが起こるのか、なぜ環境を破壊してはいけないのかを幼児期から教える必要があると考えます。世界のライオンズクラブが率先して、環境の基礎知識を学ぶ教本を作成して頂きたいと心より願います。

②「平和の幼児教育」…全世界へ平和の尊さを

紛争やテロによる難民が増加し、小さな子どもが犠牲になる映像を見る度心が痛みます。宗教問題、領土問題、国家間問題などの国際問題から、育児ノイローゼ、いじめ、虐待等、痛ましいニュースを日々耳に致します。世界中至るところで、子どもの売買、少年



戦闘員、児童労働、いじめによる自殺等、命をつなぐことも出来ないありとあらゆる現実がございます。大変難しい問題ですが、だからこそ世界中のライオンズが声を上げて、真の平和とは何か、子どもたちに知ってもらおう活動を提案して頂きたい。

③全世界のライオンズクラブが一つになつて、財政が困難なパラリンピックに金銭面及び活動面で協力する

これはライオンズにとつても大変なPRになると確信しています。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの支援金拠出の件が、地区年次大会において可決されました。会員一人ひとりからの大事な浄財を有効に使い、世界中からパラリンピックに出場する選手をライオンズクラブで支えて頂きたいと思ひます。

日本では家族会員パイロット・プログラムが導入され、約2万8千人の子会員が入会されています。私がクラブ会長の時のテーマは「会える喜び、ウイサーブ」とさせて頂きました。朝、目が覚めた時に家族に会える、メンバーと例会で会える、ブラザー・クラブの方々と会える、これら全てに生命があつてこそその喜びを感じます。家族会員も例会に出席することにより、仲間との信頼が深まり、クラブ愛が生まれ、ライオンズクラブのビジョンが見え、

喜びにつながると思ひます。

最後に、当クラブでは新会員の入会時に、ライオンズの精神の源である「ライオンズの光」を朗読します。一人では出来ないことも、世界中のライオンズ・メンバーが一つになれば可能になると確信します。

## ブライインドサッカー紹介例会

菊田 昭文（北海道・札幌北の杜）

これらが実現すれば全世界から今以上に一目置かれる奉仕団体になり、ノベル平和賞受賞も近づき、会員減少にも歯止めが掛かると考えます。国際協会でも一つでも取り上げて頂ければこれからの活動の励みになります。

（94年入会／13年度クラブ会長／64歳）

札幌北の杜ライオンズクラブは札幌エルムライオンズクラブのスポンサーにより2007年5月にチャーターを受けてから、8周年を迎えることが出来ました。7年目の13年度には小野寺眞悟地区ガバナーを輩出してキャビネット・ホストクラブとなり、331・A地区の皆様は大変お世話になりました。当クラブがこれまでやってこられましたのも、各クラブ、会員各位のご支援、ご指導の賜物と改めて厚くお礼申し上げます。

今回、チャーター・ナイト8周年記念例会を開催するに当たり、節目の10周年に向けて、更に活発な奉仕活動に挑むために、新たな取り組みとして障

がい者スポーツに目を向けました。最近新聞等で紹介され徐々に知られてきましたが、認知度がまだ低い「ブライインドサッカー」に興味を持ちました。これをクラブ・メンバーはもちろんなるべく多くの方々と共有したいと、ブライインドサッカー紹介例会を開催致しました。新年度が明けたばかりで忙しい時期でしたが、ライオン・レディ、当クラブの札幌リハビリ支部、リジョンは異なりますが親しくさせて頂いている札幌新星ライオンズクラブから5人、興味をお持ちの方の方々、また他の障がい者スポーツも知ってもらいたいということで知的障がい者支援施

設・陽風スタッフ、聴覚障がい者の方々にもご出席頂き、総勢60人の参加者となりました。

お招きしたのは、引退したスポーツ選手のセカンドキャリア支援を中心に、ブラインドサッカーなど障がい者スポーツの普及活動も行っているNPO法人セカンドサポートの芳賀博信理事長（プロサッカーチーム・コンサドーレ札幌の元選手）と、同組織が運営するブラインドサッカーチーム・ナマラ北海道の高橋翔平監督及びスタッフの横山宣弘様。ブラインドサッカーのことはもちろん、セカンドサポートで行っている青少年育成活動についても紹介して頂きました。

芳賀理事長に、ブラインドサッカーとはどういうものか、その出会いから



これまでの活動について、またこのスポーツが子どもたちにどのような気づきを与えるものなのか、コミュニケーションの向上や障がい者との相互理解を目的とする活動についても話して頂きました。その中で、

「障がいを持っている子どもたちは目が見えないことで不自由はあるかもしれないが、何かをやりたい、スポーツをやりたい、サッカーをしたいと思っても、そのための『場』が無いことが障害なんじゃないか。だからそういう場を作りたい」

とおっしゃった言葉が印象的でした。芳賀理事長の講演後は、ナマラ北海道の高橋監督によるブラインドサッカーの実演がありました。目の見えない選手のすごさを分かってもらうため、例會出席者の何人かに、目隠しをして走る、ボールを蹴るということを体験してもらいました。見えない状態で走るなんて無理、怖い、走れない、というつくづく実感したようでした。

高橋監督と実演体験者との軽妙なトークもあり、和やかなムードで競技の紹介をして頂きました。ブラインドサッカーやセカンドサポートの活動についての質問も出て、皆様大変興味を持って頂けたようです。

例會の最後には、更なる活動の充実に充てて頂きたいということで、当ク

ラブからセカンドサポートへ活動支援金10万円を贈呈させて頂きました。

最後に札幌新星ライオンズクラブからも多額のドネーションを頂きました。ありがとうございました。

今回はブラインドサッカー紹介例會でしたが、今後もアクティビティの趣旨に賛同してもらえ、気の合った親しいクラブが集まって協力すれば、労力的にも金銭的にも大きな合同アクティビティが出来るのでは……とも思いました。

クラブ結成10周年に向けて、更なる活発な活動をしていきたいと思っております。（96年入会/12年度クラブ会長/51歳）

**お仏壇・仏具はやっぱり京都**

朝に礼拝  
夕に感謝

**若林**

伝統工芸 京仏壇・京仏具

京都本社 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎075-371-3131 (代)  
 東京店 〒146-0081 東京都大田区仲池上2-8-13 ☎03-3755-8488 (代)  
 築地店 ☎03-3546-8228 (代)  
 札幌店 ☎011-512-3455 (代)  
 仙台店 ☎022-213-0666 (代)  
 近江草津店 ☎077-564-1011 (代)  
 福岡営業所 ☎092-761-3737 (代)  
 新潟営業所 ☎025-255-0868 (代)

◎お仏壇のカタログ差し上げます。  
◎お近くの若林各店までお気軽に。

京都ライオンズクラブ会員 若林正博

## Close up

# 東北復興プロジェクト ロクファームアタラタを設立

東日本大震災が起きた時、たまたまうちの会社で沿岸部の公共施設の工事を請け負っていたんです。義理の兄を含む23人を派遣していて、それから4日間、連絡が取れませんでした。うちは山形の企業ですが、気仙沼に倉庫もありましたし、仙台市内で飲食店も経営していた。だから、結構被害が大きかったんです。社員がいますので、気が気じゃありませんでした。でもね、ようやく連絡がとれて戻ってきた社員が言ったんです。「今からすぐ水と食料を集めて被災地に戻らなきゃいけない」って。ハッとしました。どれだけ自分の身の回りのことばかり考えていたんだ、って。

それで、私も水と食料を集めて被災地に向かったんです。懇意にしている農家さんからも形の悪い食材なんかを提供してもらって、毎日行って炊き出しを実施しました。会社がつぶれるかもしれない、そんな時期でしたけど、被災地の様子を目の当たりにしたら、そんなこと考えられないですよ。「何だこれは」って。今でも表現出来ないような状況でした。

外食産業に携わる者として、東北復興プロジェクトを立ち上げ、ロクファームアタラタの設立を目指すことに

しました。このロクファームアタラタは被災地に働く場所を作り、食育の場所を提供する施設で、更に防災機能も備えています。被災地での経験を経て雇用の創出、福祉、防災を考えた施設が必要だと考えたんです。ただ、それだけでは人が来てくれませんし、崇高な理想があっても、続けられません。そのため、今後はイベントの実施などを含め、どうやって人に来てもらうかがポイントになってくると思います。

私は高校を中退し、塗装業をやっていました。仕事を請け負ううちに、だんだん総合建設業のようになってきて、工務店を設立し事業を拡大していきました。その中で、会社を辞めて飲食店を始めても、立ち行かなくなる人が多いって気付いたんです。これはマーケティングが大切だぞ、って思ったんです。そこでテーブルの大きさや内装の色などの実験のために自分で飲食店をやってみようと思ったんです。ただの内装屋としてじゃなく、飲食店を始めた人の助けになりたいと思いました。そうしたら飲食業は奥が深く、もっと知りたいと思うようになっていったんです。こうした経験を生かして、ロクファームアタラタも盛り上げていきたいですね。

### ■大江文彦

おおえ・ふみひこ オオホリ建設株式会社代表取締役。1975年2月8日生まれ。山形県天童市出身。高校を中退し、塗装会社で修行後独立。95年に現会社の前身となるオオホリ興業を設立。その後、塗装業に加え、店舗の内装やリフォームも手掛けるようになり、飲食業にも進出。99年12月山形センチュリーライオンズクラブチャーターメンバー。2011年度クラブ会計。



# ライオン誌日本語版出版物

## ライオンズ新書／ライオン誌創刊号復刻版

- ライオンズ新書01  
ライオンズ力を高める  
第1版第2刷



ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズスピリット』の後継書。

新書判 224ページ  
1部500円・送料実費

- 大口注文割引  
100～499部＝1部450円  
500部以上＝1部400円

- ライオンズ新書02  
LCIF早分かり  
第1版第3刷



ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 176ページ  
1部400円・送料実費

- 大口注文割引  
100～499部＝1部350円  
500部以上＝1部300円

- 『ライオン誌』日本語版  
創刊号復刻版  
第1版第5刷



1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。日本にライオンイズムがもたらされて6年目、誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ  
1部300円・送料実費

- 大口注文割引  
100～499部＝1部250円  
500部以上＝1部200円

## ライオンズスクール・シリーズ

- 初級編・ライオンズクラブ入門  
第3版第5刷



入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

- 大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

- 中級編・クラブ運営の基礎知識  
第3版第3刷



クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

- 上級編・リーダーシップを養う  
第1版第5刷



国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料(組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求

■お申し込みはEメール([office@thelion.jp](mailto:office@thelion.jp))またはファクス(03-6674-8781)をお願いします



ふるさと探訪

栃木県足利市 取材/鈴木秀晃 写真/田中勝明

# 多彩な観光資源を持つ 北関東の歴史町

収穫前のブドウを守るため、丘の頂上に立ち、終日空き缶をたたいてカラスを追う「こころみ学園」の園生

## 大切に育てたブドウから出来る上質のワイン

1955年、特殊学級の教員だった川田昇氏が私財を投じて山を購入。そこは38度の勾配を持つ急斜面だったが、何よりも日当たりの良さにひかれた。やがて川田氏は、生徒たちと共にこの急斜面を開墾し始めた。

生徒たちが卒業した後も続けられる作業を探ろうとしたのだ。知的障害の中でも自閉症の人は、一度覚えてルーブル化すると、集中力が続く上、丁寧な仕事をするという特性を持つ。畑仕事には向いていた。

生徒たちは2年がかりで山を開墾し、58年に初めてブドウの苗を植えた。川田氏がブドウを選んだのは、年間を通して仕事があるためだ。冬場に剪定した後の枝拾いに始まり、 unnecessary 芽を落とす芽かきや、つる切り、下草刈り、害虫退治、傘かけ、そして秋の収穫と続く。

更に68年からは9人の職員が、手作りの小屋で寝起きしながら、自分たちの手で施設作りを始め、翌年30人収容の「こころみ学園」が誕生。この年、成人対象の知的障害者更生施設としての認可を受けた。

その後、80年頃にはブドウ畑の面積を広げ、ワインの生産を計画。果

良いブドウを残すため、収穫前のブドウ畑でも選果が行われる



実酒製造免許を取得するため、賛同する園生の父兄の出資により(有)ココ・ファーム・ワイナリーを設立し、こころみ学園はワイナリーに原材料のブドウを提供する形にした。

開園以来、畑では除草剤も化学肥料も使っていない。夏は汗まみれになりながら、また冬には赤城おろしと呼ばれる寒風にさらされながらも、手間を惜しまず、大切にブドウを守ってきた。それが、質の良いブドウ作りにつながり、そしてレベルの高いワインを生み出す源となっている。現在、こころみ学園の自家畑は5

カ所あり、マスカット・ベリーA、ノートン、リースリング・リオンなどの品種を栽培。収穫したブドウは全量、ココ・ファーム・ワイナリーが園から買い取る。ワイナリーではこの他、県外にも10軒の契約農家をもち、北海道余市町からはケルナーやピノ・ノワール、山形県上市市からはシャルドネなどを仕入れている。2000年九州沖繩サミットや2008年北海道洞爺湖サミットで世界のVIPに供され、がぜん注目を集めたココ・ファーム。最近ではJALのビジネスクラスにも採用されるなど、ますます磨きがかかり、最高品質のワインを生み出すワイナリーと言われるまでになっている。

# 足利

ASHIKAGA

## 栃木県 足利市

あしかが

県南西部、室町時代に将軍家となった足利氏発祥の地で、フランシスコ・ザビエルが「坂東の大学(アカデミア)」と呼んだ足利学校がある。古くからの絹の産地でもあり、明治大正期には繊維産業の中心都市として栄えた。昭和12年、足利銘仙が全盛だった頃、織物同業会が皇太子(昭和天皇)誕生記念に建立した織姫神社は、織物を始め産業振興の神として、また縁結びの神としても知られる。足利学校や織姫神社の他、足利氏宅跡の饒阿寺(国宝、重宝文化財)、陶磁器専門館としては世界最大級の栗田美術館、日本最大規模のフジの庭園があるあしかがフラワーパークなど、多くの観光資源を持つ。北関東の郷土芸能八木節は同市八木宿で生まれたとされる。面積/177.76平方キロ、人口/14万9437人(2015年10月1日現在)

### 【交通アクセス】

■ JR 東日本両毛線と東武鉄道伊勢崎線が通る。浅草から特急りょうもつ号で約70分。

■ 関越、東北、常磐各自動車道を結ぶ北関東自動車道・足利インターチェンジがある。



学園のブドウで造られたワイン「こころみノートン」(左)と「こころみシリーズ」第一楽章、第二楽章



平均斜度38度の急勾配に作られた「こころみ学園」のブドウ畑(ココ・ファーム・ワイナリー・栃木県足利市田島町611 TEL.0284-42-1194)



日本最古の学校と言われる足利学校(国指定史跡)

## 日本最古の学校と 織物全盛期の近代遺産

足利の市街地は、足利氏の居宅跡である鏝阿寺と、足利学校を中心に展開している。鏝阿寺と足利学校を結ぶ道沿いには、古い土蔵などが残り、この辺りが明治大正期に繊維産業で富を築いた富裕層の邸宅街であったことをうかがわせる。

鏝阿寺は周囲に土塁と堀を巡らせた、ほぼ正方形の寺域を持ち、鎌倉時代の武家屋敷の面影を今に伝えている。堀には大きなコイが泳ぎ、表参道からこの堀にかかる太鼓橋を渡るとすぐに楼門がある。正面の本堂は、室町幕府初代将軍足利尊氏の父貞氏が1299年に再建したもので、現在は国宝に指定されている。

鏝阿寺の南東にある足利学校は平



足利学校の国宝書籍などを由干しする曝書作業。江戸時代から続く伝統行事で、秋の風物詩として知られる

安時代初期、もしくは鎌倉時代に創設されたと伝えられる。室町時代から戦国時代にかけては、関東における事実上の最高学府となり、最盛期には「学徒三千」と言われた程の隆盛を誇った。宣教師フランシスコ・ザビエルは布教本部に宛てた1549年の書簡に「坂東の大学（アカデミア）あり。日本国中最も大にして最も有名なり」と記し、足利学校の名は海外にまで伝えられた。

現在の足利学校は、江戸期の落雷により一部を残し消失してしまった姿を1990年に復元完成させたもの。今年4月24日、地域創生を目的に文化庁が初認定した18件の日本遺産の一つとして、足利学校は「近世日本の教育遺産群」に認定された。

足利には中世、近世の古い史跡だけでなく、明治以降の近代遺産も



東武伊勢崎線「福居」駅前にある株トチセン（栃木整染）の赤れんが工場群。れんが造りとしては三つの建物が残されており、使われているれんがは、今はない埼玉県深谷市の日本煉瓦製で、いずれも登録有形文化財に指定されている



トチセンの工場奥にある機械室には、電源を入れると力強く動き出す古い機械群が保存されている

幾つか残っている。江戸時代から絹織物や綿織物の生産を行っていた足利は、明治期には国内屈指の織物出荷額を誇った。大正に入ると「足利本銘仙」という着物が一世を風靡、足利織物の生産はピークを迎えた。

そんな織物輸出全盛期の1913年に、大量生産を目的に造られた近代的な工場(株)トチセン(栃木整染)には、今も赤れんが工場やボイラー、機械室などが残っている。破風にある軒蛇腹や外壁側に突き出した付柱などが特徴的な6連のノコギリ屋根の工場、戦時中の米軍爆撃機用の黒い迷彩がそのまま残された工場など、まるで昭和初期にタイムスリップしたような錯覚を覚える程だ。最近ではそうした建物や設備が評判を呼び、映画やテレビのロケに使われることも多いのだという。

▼取材協力クラブ  
足利ライオンズクラブ(亀田尚英会長 / 70人) ■1961年7月28日結成  
／スポンサー・東京芝ライオンズクラブ  
／栃木県最初のクラブとして誕生、この11月14日に55周年式典を実施した。62年にはお隣の群馬県・桐生ライオンズクラブをエクステンション。これにより全都道府県にライオンズが結成されることになった。伝統的に青少年育成事業や献血、献眼などに力を入れているが、海外支援にも積極的で、6年間にわたりケニアに米を贈る運動を展開したり、インドへの眼病治療機器を贈るLCIF交付金事業を実施している。最近では市内街路にハナミズキを植樹し、約2キロのハナミズキ・ロード造りに取り組んでいる。ケニアのナイロビ・ノースライオンズクラブとは姉妹クラブ。

ライオン誌を読んで

毎回「クラブ・リポート」で、各地区がどのような形で事業を実施しているのかを見るのが楽しみです。また、毎年掲載されている「ライオンズクラブ統計」もウェブからダウンロードして、例会のテール・ツイスター・タイムに出来るだけスクリーンに映し出すなど活用しています。「ふるさと探訪」は旅行で行ったことがある所が出たり、時には自分の故郷が出たりして、日本の今の状況を見るのに楽しみなページです。

大阪鶴見ライオンズクラブ ●井上芳幸

尾花沢の屋台に感銘

SCENE「おばなざわ花笠まつり花笠踊り大パレードを祭りばやし屋台で先導」の記事が参考になりました。とかく金銭アクティビティが主流になりつつある現在、地元に関わるこの出来る事業との思いから、花笠祭りの夜のイベントを起こし、祭屋台を製作して大パレードの演奏を担当する等、地域に密着した事業で、ウィ・サーブ

読者プレゼント

■ココファームのジャムセットを読者5人に



今月号ふるさと探訪で(49~53頁)で紹介したココファームのジャムセットを5人の読者にプレゼントします。スパークリングワインを少量加え味に深みをもたせた苺ジャム、ココファームの若摘みブドウでつくった、ポリフェノールたっぷりの葡萄ジャム、レーズンをジャマイカラムで煮込んだ香り高いレーズンジャムの3個セットです。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「ジャムセット」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 ライオン誌事務所  
\*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp)の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

の精神もこのような生かし方が有るのだと感銘した次第です。

長野中央ライオンズクラブ ●竹内伊吉

■今も昔も共通の課題に対し

「もう一度読みたい『あの記事』…なぜクラブは小さく閉じこもる?」を読み、今も昔もライオンズクラブは変わらない悩みを抱えていると実感しました。

しかし現在は技術の発達により、情報の共有化など、過去には不可能であったことが出来るようになっていきます。そこで、それらをいかに活用してこの課題に取り組むかが重要だと思

ます。

現在当地区ではまさにこの問題に挑戦しているところですが、全クラブのホームページの開設を目指し、各クラブの情報の共有化を図っています。

北海道・白滝ライオンズクラブ ●奥山壽雄

■女性会員増強は必要だが

今回の「ライオンズクラブ統計」で気になったのは、アメリカでさえ家族会員(子会員)の割合が9・2%に過ぎないのに、約22%が子会員、ことに女性会員である日本の将来である。

統計からすれば、上位5カ国

において子会員ではない女性の人数は、アメリカが約6万8千人、インドが約1万6000人、韓国が約1万5千人であるのに対し、日本は約8800人に過ぎないことが読み取れる。従って、女性会員の増強に努力が必要であるが、自立していない家族や女性会員が数の上で増えるだけでは、クラブの活性化・新陳代謝とはならない。数の上で家族に依存し過ぎることには危惧を感じている。

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ

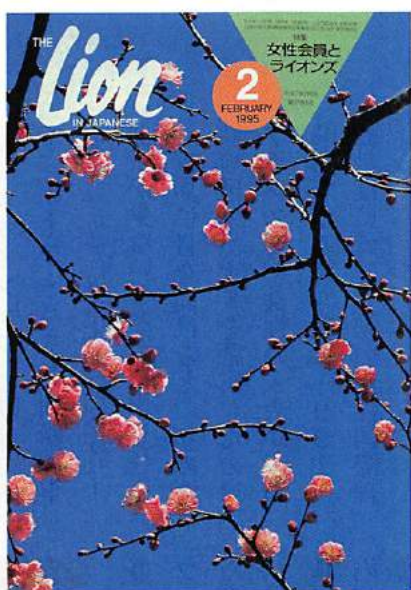
●大南修平

# 「1987年7月 そのとき歴史が変わった」

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

1987年7月4日、第70回国際大会（台北）の最終日、世界貿易センターで行われた「国際役員選挙および国際会則改正案賛否投票」会場は緊張感に包まれていた。国際理事会は今年、何としてもこの「会員資格から男子の2文字を削除する」案を

会（ニューオーリンズ）で女性の入会を認める国際会則改正案を審議にかけた。が、結果は否決。この「何としても」の熱意は台北での投票結果に現れた。賛成3890票、反対1124票。長年にわたる会員資格の問題に終止符が打たれたのである。



話は60年代後期のアメリカにさかのぼる。

性差別是正に立ち上がった全米女性機構が誕生したのは66年のことで、アメリカの女性解放運動は70年代に燃え上がり、80年代には急進的になった。また、この運動を通じて、いかにアメリカが男性優位の社会であるかが浮き彫りにされていた。それまで、自由の国、民主主義の元祖のように思われてきたアメリカだったが、それは表面上のことであり、内面には根強い女性差別意識が存在していることが明示された。言語も

通さないわけにはいかなかった。この裏には困難な事情があった。女性解放運動が全米に波及、奉仕団体が女性を排除することは差別だとするアメリカ最高裁判所からの決定が下されていた。そうした時代風潮にあって、国際理事会は前年の第69回国際大

やり玉に上げられ、いくつかの言葉の改正が要求されている。改訂された国際会則第3条第8項に「国際会則および付則で、男性を表す言葉または代名詞が用いられている全ての箇所、それは男性と女性の両方を意味するものと解釈する」と苦しい説明が付されているのも、こうした事情への配慮からだろう。

実は女性の入会については87年の8年前から、国際協会内部では論議されていた。この問題に熱心に取り組んだのはロイド・モーガン79年度国際会長であった。彼は就任早々から女性を正会員として迎えるよう提案し、その実現のために全精力を傾けていた。彼はまず会則及び付則委員会をパスさせ、国際理事会に諮った。が、国際大会の前段階である国際理事会での審議に破れたのである。当時の村上薫国際第2副会長は、この時の様子を次のように書き記している。

「この提案は破れました……。深く頭を下げ、厳しく、そして寂しく語るモーガン国際会長であった。満面紅潮、いつもの温顔はどこへやら、うつぶんやる方ないが理事会の決定はどうすることも出来ない」と。この時の国際理事会では「時期尚早」という意見が圧倒的であったが、この国際理事会に照準を合わせることのように、シカゴの有力新聞「シカゴ・トリビューン」は次のような大々的なキャンペーンを展開した。「世界の大組織である奉仕団体が揃いもそろって女性を迎え入れないのはい体どうしたのか」と世論に訴えたのである。当時、ロータリークラブも女性の入会に強く抵抗し、アメリカ最高裁判所で裁判の継続中であった。やがてライオンズにも女性の力がやってくるとロイド・モーガンは時流を見抜いていたのである。かくして女性ライオンは誕生したのである。

ライオン誌例会のススメ  
—次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■女性リーダーの誕生

10月に開かれたFWT全日本女性シンポジウム（今月号5頁「ヘッドライン」）での講演の中で、カーラ・ハリス国際理事（アメリカ）は日本には女性リーダーが少ないことを指摘した。

世界に目を向けると、初の女性地区ガバナーを輩出したのはフランスで、女性の入会が認められてから4年後の1991・92年度に就任。初の女性国際理

クイズ de 例会

〈第1問〉FWTのFはFamily、Wはどの単語の頭文字？

- a. World    b. Work
- c. Women

〈第2問〉日本ライオンズのリーダーに占める女性の割合は？

- a. 5%    b. 10%    c. 15%

〈第3問〉視力ファースト事業によってオンコセルカ症撲滅のため配布された薬は？

- a. スベルメクチン
- b. イベルメクチン
- c. トベルメクチン

〈第4問〉国際理事会の定例会議は年に何回開催される？

- a. 3回    b. 4回    c. 5回

〈第5問〉東欧の旧社会主義諸国で最初にライオンズ国になった国は？

- a. ルーマニア    b. チェコ
- c. ハンガリー

★回答は54頁下

1月号予告

特集 福岡国際大会展望

2016年6月24～28日、福岡市で第99回ライオンズクラブ国際大会が開催される。日本での開催は、前回2002年の大阪国際大会以来13年ぶり4度目となる。山田實紘国際会長が主宰することから、国内から多くの参加が見込まれている福岡大会について、不老安正委員長らホスト委員会メンバーに聞く。



国内から多くの参加が見込まれている福岡大会について、不老安正委員長らホスト委員会メンバーに聞く。

1957年12月13日

1957年12月13日、第1回アジア大会（ライオンズ第17エリア大会、現OSEALF

事となったパキスタンのザイニロファー・バクティアーが就任したのは99年6月のことだった。日本では04・05年度、330・C地区（埼玉県）で杉櫻井慧子が国内初となる女性ガバナーに就任。以来、現在までに女性の地区ガバナーを輩出した地区は330・A地区（東京都）、333・C地区（千葉県）／2人、335・D地区（兵庫県西部）、337・A地区（福岡県）で、11年間で合計6人。12・13年度には杉河合悦子が女性初の協議会議長となったが、女性国際理事はまだ誕生していない。



302地区会報「ライオン」1958年2月号

オーラムの前身）が、フィリピン・マニラで開催された。東京ライオンズクラブの結成から5年を経たこの年、日本国内のライオンズは51クラブ、2662人（57年6月末）に成長して302地区を編成し、岡山ライオンズクラブの杉原勝巳が地区ガバナー

を務めていた。302地区会報「ライオン」58年2月号に、福岡ライオンズクラブの杉森司デピュティ・ガバナー（現在のリジョーン・チェアパーソン）によるエリア大会出席報告が載っている。それによれば参加国は台湾、香港、フィリピン、日本の4カ国で、日本代表団は原ガバナー以下20人。杉森は国旗式典と君が代の演奏に目を熱くした開会式や、各国主催の華やかな昼食会、夕食会での交流の模様を詳細に伝えている。大会最終日の会議ではガルシア大統領が演説を行い、国境を越え、民族を超えて奉仕するライオンズに祝福の言葉を贈った。この大会で、第2回アジア大会は東京で開催することが決定されている。





**EXECUTIVE OFFICERS**

President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; Immediate Past President Joseph Preston, Dewey, Arizona, United States; First Vice President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Second Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-6842, USA.

**DIRECTORS**

**Second year directors**

Svein Øystein Berntsen, Hetlevik, Norway; Jorge Andrés Bortolozzi, Coronda, Argentina; Eric R. Carter, Auckland, New Zealand; Charlie Chan, Singapore, Singapore; Jack Epperson, Nevada, United States; Edward Farrington, New Hampshire, United States; Karla N. Harris, Wisconsin, United States; Robert S. Littlefield, Minnesota, United States; Ratnaswamy Murugan, Kerala, India; Yoshinori Nishikawa, Himeji, Hyogo, Japan; George Th. Papas, Limassol, Cyprus; Jouko Ruissalo, Helsinki, Finland; N. S. Sankar, Chennai, Tamil Nadu, India; A. D. Don Shove, Washington, United States; Kembra L. Smith, Georgia, United States; Dr. Joong-Ho Son, Daejeon, Republic of Korea; Linda L. Tincher, Indiana, United States.

**First year directors**

Melvin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillippi, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo León, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

Lions Clubs International Headquarters  
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA  
TEL. (630) 571-5466 FAX. (630) 571-8890  
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される-英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

**ライオン誌日本語版委員会**

国際理事	西川 義規
国際理事	安井 克之
国際理事	佐藤 宜之
委員長	塚田 雅二 (333複合地区)
編集長	井村 一男 (337複合地区)
委員長	久津間 康允 (330複合地区)
委員長	中 嶋 幸 (331複合地区)
委員長	佐藤 義則 (332複合地区)
委員長	石井 博之 (334複合地区)
委員長	中村 房雄 (335複合地区)
委員長	寺 越 慎一 (336複合地区)

ライオン誌日本語版事務所  
〒04-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階  
TEL. (03) 6674-8777 (代) FAX. (03) 6674-8781  
E-mail. edit@thelion.jp  
Website: www.thelion-mag.jp



ライオン誌  
日本語版委員

●  
佐藤義則  
(宮城県・蔵王)

**編 集 室**

**2015年ライオン誌編集者会議**

10月6、7日、ドイツ・アウクスブルクで開かれたライオン誌編集者会議に出席した。会議では特に国際理事会で決定された公式版ライオン誌のデジタル版移行について多くの時間が割かれた。山田實絃国際会長は「公式版ライオン誌は各国のさまざまな奉仕活動を発信する大事な役割を持っている。どのようなフォーマットになろうとも、ライオンズのすばらしいニュースを世界中に広めていくことが大切。そのためいろいろ

仕事をしてほしい」と話された。

当初2018年1月までに移行するとの決定だったが、その後の検討で当面は年4回印刷版を発行すると軌道修正された。本部版は17年7月からプログタイプ（デジタル版）に切り替える計画で、具体的な作業を進めている。国際本部PR部の担当者からは、現在の誌面をPDF化するのではなく「オンライン化」と考えてほしいと説明があり、次のような見解が示された。公式版の使命はデジタル版になると更に重要になる。一般の人が見てライオンズクラブに好印象を持つようビジュアル・イメージに力を入れることが大切。デザインや内容も含め、公式各国語版が独自性を持って編集に当たる。

これに対して、各国語版編集者の反応は次の通り。全会員がインターネットに接続出来るわけではなく印刷版廃止には反対（インド版）。年齢層の高い会員が多く、まだまだアナログが中心。各国の事情に合わせて段階的に進めるべきではないか（韓国版）。プログタイプとなると頻繁に更新することになり、年4回の印刷版発行と合わせるとマンパワーが足りないし、コストも今より増えるのではないかと（オーストリア版）。デジタル版発行のタイミニングが難しい。重要なイベントごとにリアルタイムで更新するのは不可能だし、速報は情報の信頼性が損なわれる恐れもあり、月1回の更新が妥当ではないか（フランス版）。デジタル化の

準備には経費の裏付けが必要だ。補助金の額を早く示してほしい（日本版）。今回の会議を踏まえ、次回国際理事会で更に具体的な検討がなされることになる。日本に戻ってみると「ライオン誌は閲読率が低いから必要ない」「会員1人月額50円の特別負担金を無くすべき」などの意見を伺った。我々委員は各クラブの活動に資する誌面を作り、少しでも多くの会員に読まれるよう努力してきた。今回のデジタル化でも小委員会を組織し準備を始めている。日本のライオンズがどのように活動しているのかを伝える大切な機関誌であるから、今後しっかりとデジタル版に移行出来るよう努力を重ねていきたい。

# 日本ライオンズクラブ分布図

2015.10.31 eMMR ServannA報告による

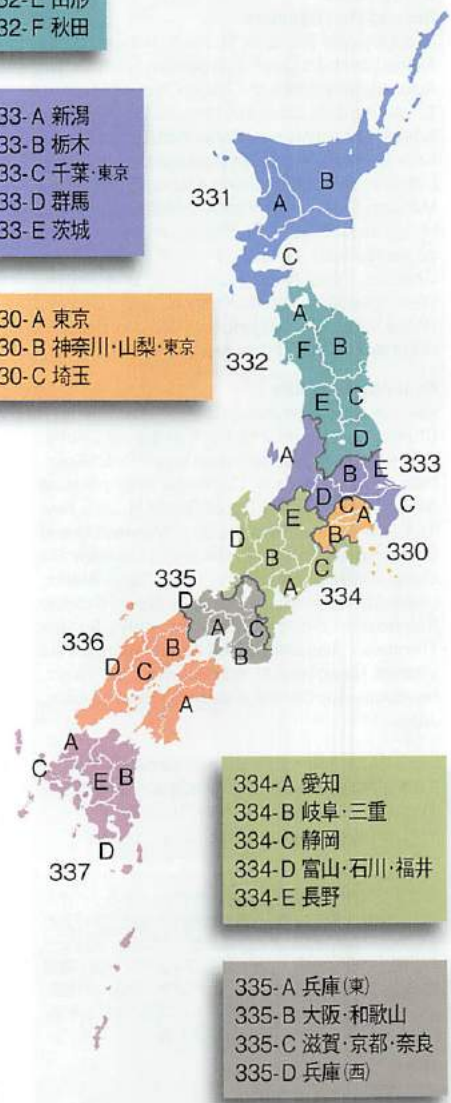
地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	202	6,491	66	4,710	1,781 (27.4)	1,874	45	608	1,266
330-B	166	4,895	126	4,043	852 (17.4)	631	31	176	455
330-C	87	2,443	10	1,968	475 (19.4)	400	-14	111	289
<b>330 計</b>	<b>455</b>	<b>13,829</b>	<b>202</b>	<b>10,721</b>	<b>3,108 (22.5)</b>	<b>2,905</b>	<b>62</b>	<b>895</b>	<b>2,010</b>
331-A	73	2,830	60	2,266	564 (19.9)	516	16	97	419
331-B	85	2,760	81	2,239	521 (18.9)	452	19	57	395
331-C	53	1,998	45	1,643	355 (17.8)	332	26	86	246
<b>331 計</b>	<b>211</b>	<b>7,588</b>	<b>186</b>	<b>6,148</b>	<b>1,440 (19.0)</b>	<b>1,300</b>	<b>61</b>	<b>240</b>	<b>1,060</b>
332-A	64	2,116	35	1,667	449 (21.2)	341	10	73	268
332-B	53	2,453	38	1,621	832 (33.9)	825	30	133	692
332-C	68	1,872	52	1,340	532 (28.4)	488	5	102	386
332-D	73	2,511	99	1,943	568 (22.6)	518	44	109	409
332-E	56	2,059	36	1,618	441 (21.4)	379	15	58	321
332-F	45	1,436	37	1,049	387 (26.9)	335	22	57	278
<b>332 計</b>	<b>359</b>	<b>12,447</b>	<b>297</b>	<b>9,238</b>	<b>3,209 (25.8)</b>	<b>2,886</b>	<b>126</b>	<b>532</b>	<b>2,354</b>
333-A	75	3,375	67	2,636	739 (21.9)	713	3	165	548
333-B	49	1,602	39	1,056	546 (34.1)	431	16	98	333
333-C	133	3,810	30	2,905	905 (23.8)	710	-11	254	456
333-D	53	2,439	113	1,756	683 (28.0)	715	75	168	547
333-E	79	4,430	83	2,951	1,479 (33.4)	1,621	3	411	1,210
<b>333 計</b>	<b>389</b>	<b>15,656</b>	<b>332</b>	<b>11,304</b>	<b>4,352 (27.8)</b>	<b>4,190</b>	<b>86</b>	<b>1,096</b>	<b>3,094</b>
334-A	119	7,231	185	4,746	2,485 (34.4)	2,564	105	524	2,040
334-B	81	5,419	30	3,498	1,921 (35.4)	2,264	-18	524	1,740
334-C	80	3,817	40	2,996	821 (21.5)	787	3	113	674
334-D	99	6,240	61	3,992	2,248 (36.0)	2,375	-14	411	1,964
334-E	52	2,626	51	1,881	745 (28.4)	761	14	197	564
<b>334 計</b>	<b>431</b>	<b>25,333</b>	<b>367</b>	<b>17,113</b>	<b>8,220 (32.4)</b>	<b>8,751</b>	<b>90</b>	<b>1,769</b>	<b>6,982</b>
335-A	83	2,210	54	1,761	449 (20.3)	199	14	30	169
335-B	171	6,914	369	4,995	1,919 (27.8)	1,663	235	334	1,329
335-C	120	4,231	112	3,540	691 (16.3)	439	49	97	342
335-D	65	2,044	46	1,642	402 (19.7)	286	21	72	214
<b>335 計</b>	<b>439</b>	<b>15,399</b>	<b>581</b>	<b>11,938</b>	<b>3,461 (22.5)</b>	<b>2,587</b>	<b>319</b>	<b>533</b>	<b>2,054</b>
336-A	148	6,318	127	4,760	1,558 (24.7)	1,182	53	213	969
336-B	95	3,214	96	2,698	516 (16.1)	279	67	41	238
336-C	96	3,414	236	3,000	414 (12.1)	245	207	47	198
336-D	95	3,458	234	2,896	562 (16.3)	377	177	36	341
<b>336 計</b>	<b>434</b>	<b>16,404</b>	<b>693</b>	<b>13,354</b>	<b>3,050 (18.6)</b>	<b>2,083</b>	<b>504</b>	<b>337</b>	<b>1,746</b>
337-A	116	6,013	305	4,157	1,856 (30.9)	1,618	236	344	1,274
337-B	69	3,032	43	2,164	868 (28.6)	869	31	176	693
337-C	82	4,400	58	2,879	1,521 (34.6)	1,595	44	458	1,137
337-D	78	2,489	68	2,117	372 (14.9)	221	29	37	184
337-E	57	1,761	98	1,458	303 (17.2)	199	61	55	144
<b>337 計</b>	<b>402</b>	<b>17,695</b>	<b>572</b>	<b>12,775</b>	<b>4,920 (27.8)</b>	<b>4,502</b>	<b>401</b>	<b>1,070</b>	<b>3,432</b>
<b>総計</b>	<b>3,120</b>	<b>124,351</b>	<b>3,230</b>	<b>92,591</b>	<b>31,760 (25.5)</b>	<b>29,204</b>	<b>1,649</b>	<b>6,472</b>	<b>22,732</b>

331-A 北海道(道央)  
331-B 北海道(道北・道東)  
331-C 北海道(道南)

332-A 青森  
332-B 岩手  
332-C 宮城  
332-D 福島  
332-E 山形  
332-F 秋田

333-A 新潟  
333-B 栃木  
333-C 千葉・東京  
333-D 群馬  
333-E 茨城

330-A 東京  
330-B 神奈川・山梨・東京  
330-C 埼玉



334-A 愛知  
334-B 岐阜・三重  
334-C 静岡  
334-D 富山・石川・福井  
334-E 長野

335-A 兵庫(東)  
335-B 大阪・和歌山  
335-C 滋賀・京都・奈良  
335-D 兵庫(西)

336-A 徳島・高知・香川・愛媛  
336-B 鳥取・岡山  
336-C 広島  
336-D 島根・山口

337-A 福岡・長崎  
337-B 大分・宮崎  
337-C 佐賀・長崎  
337-D 鹿児島・沖縄  
337-E 熊本

**世界のライオンズ**  
2015.10.31 国際協会集計

国または領域……210      クラブ数……46,749  
会員数……1,392,756      会員数増減……14,842

# 2016 干支のネクタイ 申

ボリュームのある生地に動きのある猿を並べ  
金糸でアクセントをつけています。

チーフ付 15,000円(税込)

※実物の色は写真と若干異なる場合がございます。

## 琳派 400 年記念 手描き金彩ネクタイ

上質のシルクを秘伝の技で染め上げた渡文の  
ブラックタイに、京友禅の絵師足立茂氏が  
金採で給付をします。

仕立ては通常の2倍強の生地を使い  
複雑に折りたたんで仕立てる  
セブンフォールド。  
この上なく贅沢なネクタイです。

ご注文をお受けしてからの  
作業になりますので、  
お届けまでに2週間程度  
かかります。

50,000円(税込)

金採001

金採002

お好みの図柄をお描きすることもできます。  
お問合せください。



さる001 (シルバー)    さる002 (ピンク)    さる003 (イエロー)    さる004 (ブルー)    さる005 (グレー)    さる006 (ブラック)

- 干支ネクタイ(さる) 15,000円(税込)
- 手描き金彩ネクタイ 50,000円(税込)

どちらもお申込みは ——

商品番号・本数・ご住所・お名前・お電話番号  
をご明記のうえ、お電話か FAX でお願いいたします。

**TEL 0120-529-374** 【受付】平日 9:00~18:00

**FAX 075-431-0001**

※お支払いは、代金引換または郵便振替でお願いします。

【取扱店】 ANA クラウンプラザホテル京都店 075-257-1910 織成館(京都西陣) 075-431-0020 渡文人形町店(東京日本橋) 03-3639-2360  
ホテル椿山荘東京 03-3943-1111 ジャパンシルクセンター(有楽町) 03-3214-1691

渡文株式会社 〒602-8482 京都市上京区大黒町 693 <http://www.watabun.co.jp>

ほんものを結ぶ喜びを…… **渡文**

# 99<sup>th</sup>ライオンズクラブ国際大会

～福岡市にて開催～

期間

2016年6月24日(金)～28日(火)



# Do for People Do for World

99<sup>th</sup> International Convention  
2016 Fukuoka Japan

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」  
Do for People Do for World

今、世界はライオンズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。

全ての国家と民族に自由と正義を保障する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が挙行されます。

全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的で有意義な誇るべき大会になることでしょう。

ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となっておもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています!

※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

## 主要会場



本部ホテル /  
ヒルトン福岡  
シーホーク

・本部ホテル



本会場 / 福岡ヤフオクドーム

・インターナショナルショー・初日総会(開会式)  
・2日目総会・最終日総会(閉会式)



展示会場 / マリンメッセ福岡

・展示ホール・物販ブース・フードコート  
・投票



登録会場 / 福岡国際会議場

・大会登録・参加キット受け取り・セミナー  
・会議

国際大会の主な  
スケジュール  
(予定)

6月24日(金)

- ・大会登録や参加キットの受け取り  
午前10時～午後5時・福岡国際会議場
- ・展示ホール  
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡

6月25日(土)

- ・インターナショナルパレード  
午前10時スタート・福岡市のメインストリート  
明治通を行進します
- ・展示ホール  
午前11時～午後5時・マリンメッセ福岡
- ・インターナショナルショー  
午後7時～8時15分・ヤフオクドーム

6月26日(日)

- ・初日総会 / 開会式  
午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- ・展示ホール、セミナー  
会議  
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、  
福岡国際会議場

6月27日(月)

- ・2日目総会  
午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- ・展示ホール、セミナー  
会議  
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、  
福岡国際会議場

6月28日(火)

- ・投票  
午前7時30分～10時30分・マリンメッセ福岡
- ・3日目総会 / 閉会式  
午前10時～午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。  
☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表していますので是非ご参照ください。  
ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」、パスワードは「japan」です。



第99回 ライオンズクラブ国際大会 ホスト委員会事務局

〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3 ヒルトン福岡シーホーク

Tel / 092-407-8199 Fax / 092-407-8948 E-mail / lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp

<http://lions99-fukuoka.jp>